

SEKISUI

光・熱複合ソーラーシステム対応

セキスイハイブリッド

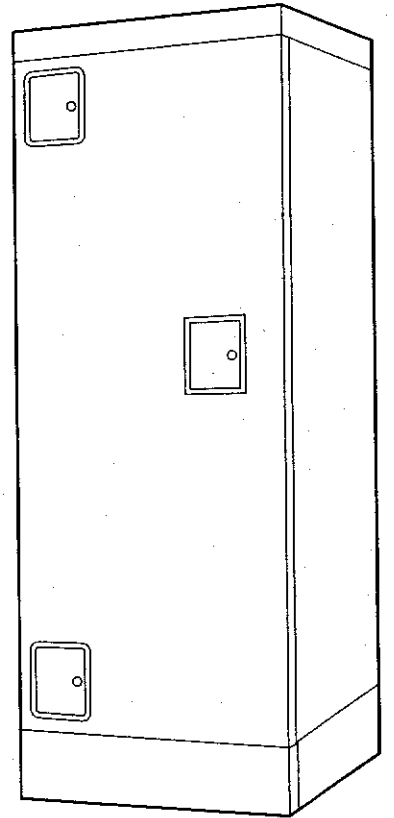
全自動
ふる給湯

**ユーノック
電気温水器**

取扱説明書

時間帯別電灯対応

形 高圧力型フルオートタイプ 名 AUH-58M2K



- *このたびはセキスイ電気温水器をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- *この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- *お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- *施工説明書を、販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。
- *保証書は必ずお受け取りください。
- *お客さまご自身では据付けしないでください。安全や機能の確保ができません。

時間帯別料金対応型とは

時間帯別料金制度に対応したもので、本体内に時計機能を内蔵しており、電気料金の安い夜間時間にお湯を沸かすようになっていきます。また、お湯がたりない場合には、昼間時間にお湯を沸かす「沸増し」機能がついています。

時間帯別料金制度とは

電気料金を昼間時間と、夜間時間の2つの時間帯に分けて電気料金を算出する料金制度です。昼間時間の電気料金単価は、一般の従量電灯の料金単価に比べ割高になっていますが、夜間時間の電気料金単価は深夜電力料金と同水準になっています。

高圧力型電気温水器とは

平成10年12月に「労働安全衛生法施行令」が改正され、小型ボイラーの規制が見直されたことにより、今までの電気温水器・最高使用水圧が変更され100kPaから200kPaまでの使用が認められました。これにより2階への給湯及びシャワーの使い勝手が向上され、より利便性の高い商品となりました。ただし、一般家庭以外(事業所等)でご使用の際には改正に伴い諸条件が義務付けられています。

もくじ

安全上のご注意	1
ご使用にあたってのお願い	4
各部のなまえ	5
運転を開始する	9
時刻を合わせる	10
温水器の湯温を設定する	11
温水器の湯温を表示する	11
沸き上げを停止する(るすばん予約)	12
たくさんお湯を使いたい(沸き増し)	13
給湯温度を設定する	14
おふろに湯はりする	15
洗浄する	21
リモコンの特殊な使いかた	22
長期間使用しないとき	23
凍結防止について	24
万一の災害時には(非常用水の取り出し栓の使いかた)	25
停電したとき	26
定期点検のおすすめ(有料)	26
日常の点検とお手入れ	27
故障診断(調子がおかしいとき)(修理を依頼される前に)	29
故障診断(こんなときは故障ではありません)	31
エラー表示と処置	32
仕様	34
保証とアフターサービス	35
事業者様へのご案内	36
事業所設置の際の規定事項	37



- この電気温水器は、通電制御による特別引き料金の適用を受けられます。適用に当たっては、最寄りの電力会社に申請してください。なお、本体には、右記のシールが貼り付けてあります。





安全上のご注意

- ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
- 表示と意味はつぎのようになっています。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止
	分解禁止
	接触禁止

	アース工事
	指示にしたがう

表示	表示の意味
----	-------



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。






注意


誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる損害を意味します。

(本体表示)

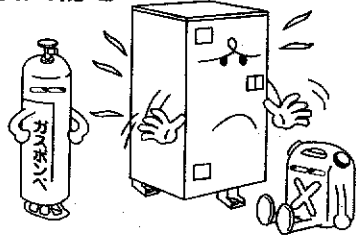
	感電注意
	高温注意
	発火注意


警告

 近くにガス類や引火物を置かない

禁止

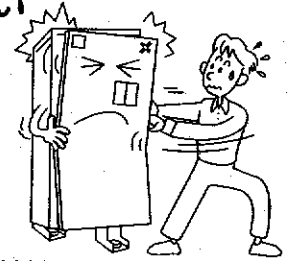
置くと、発火・火災になることがあります。



 前面カバーを開けない

禁止

開けると、感電することがあります。

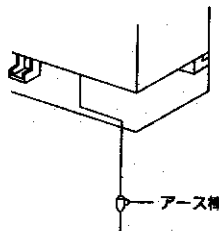


 アース工事を確認する

アース工事

工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。

アースの取付けは、据付工事店または「セキスイ営業所」へお問合わせください。

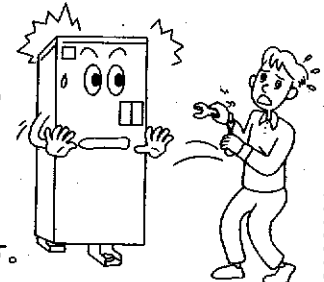



 改造をしない

分解禁止

(修理技術者以外の方は) 分解・修理をしない

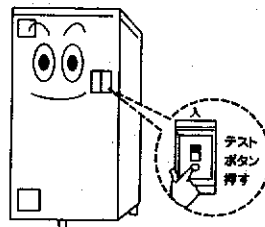
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



 漏電遮断器の動作を確認する

動作確認

故障のまま使用すると、感電することがあります。



 給湯時は湯水混合栓に手を触れない

やけど注意

やけどをすることがあります。

給湯レバーを開くと湯水混合栓からお湯が出ます。給湯栓は、少しずつ開いてください。特に、朝の使いはじめは空気の混ざった熱湯が出る場合があります。



5000000000

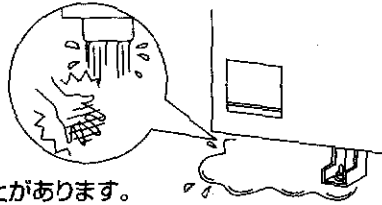
5000000000

警告



排水時はお湯に手を触れない

やけど注意



やけどをすることがあります。



シャワー使用時は、湯温を確かめる

確認



やけどをすることがあります。



逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない

やけど注意



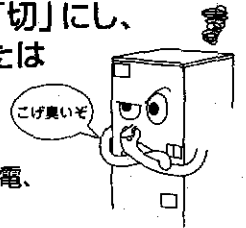
やけどをすることがあります。



異常時(こげ臭い)は、漏電遮断器のレバーを下げて電源を「切」にし、お買いあげの販売店または「セキスイ営業所」へ連絡する

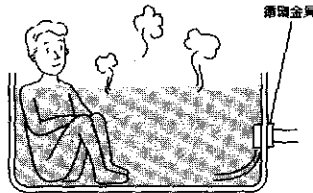
確認

異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。



高温さし湯を使用するときは、循環金具から離れる

やけど注意



やけどをすることがあります。



除雪注意

注意

高所作業は危険です。据付工事店へ依頼してください。



集熱器の除雪は滑るので危険です。屋根の説明書に従って行ってください。集熱器の除雪をする際には、集熱器をこわさないように注意してください。



給湯湯温の変更は、他の蛇口の使用状況を確認してから行う

確認

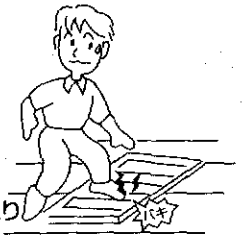
やけどをすることがあります。浴室でシャワーを使用しているときは、給湯湯温の変更をしないでください。



集熱器の衝撃禁止

禁止

高所作業は危険です。据付工事店へ依頼してください。

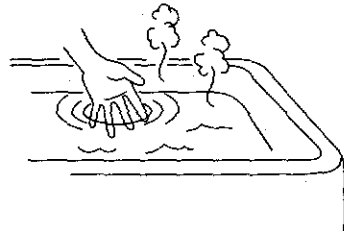


集熱器の上に乘ったりすると危険です。ガラスが割れると、ケガをしたり破片が落下して危険です。



入浴するときは、浴槽の湯温を確かめる

確認



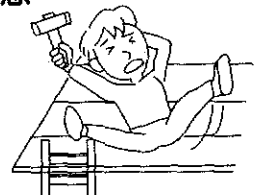
やけどをすることがあります。



集熱器のお手入れ時注意

注意

高所作業は危険です。据付工事店へ依頼してください。



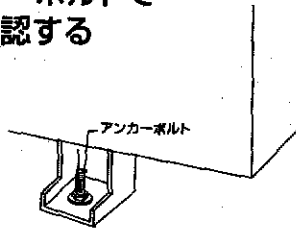
屋根上の高所作業は危険です。特に雨の後、強風時、積雪時は危険です。

⚠ 注意

! 脚(3カ所)がアンカーボルトで固定されているか確認する

確認

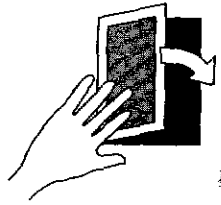
固定されていないと、地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。



! 操作カバー・操作窓は閉じる

動作確認

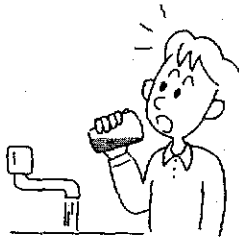
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。



⊘ 飲用はしない

禁止

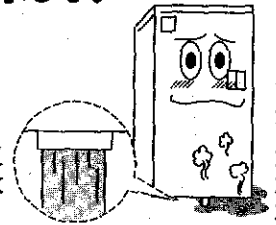
長期間の使用により水質が変化した場合、下痢・腹痛など、体をこわすことがあります。



⊘ タンクの熱湯を直接排水しない

禁止

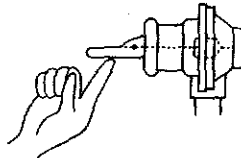
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。



! 逃し弁の点検をする

点検

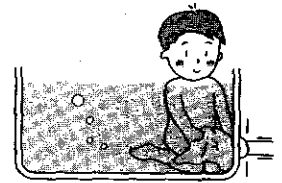
点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。



⊘ 浴槽アダプターをふさがない

禁止

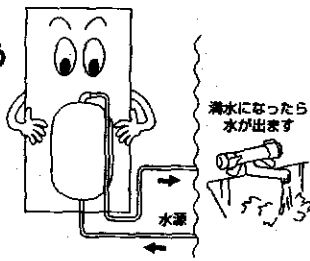
本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。



! 通電はタンクを満水にしてから行う

満水確認

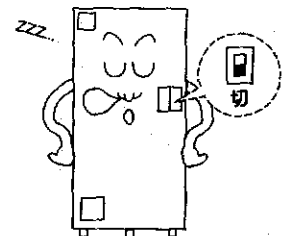
「空焚き」は、ヒーターが加熱して故障の原因になります。



! 1ヵ月以上使用しないときは、電源を「切」にしてタンクの排水をする

電源確認

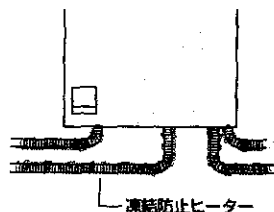
排水しないと水質が変化することがあります。



! 凍結防止対策の確認をする

動作確認

凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。



⊘ 硫黄(イオウ)、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤を使用しない

禁止

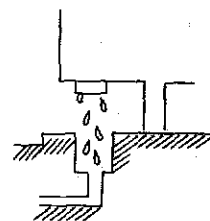
本体や配管が故障し、水漏れすることがあります。入浴剤や洗剤を使用する場合は、その注意書きに従ってください。



! 床面が防水・排水処理されているか確認する

確認

処理されていない場合、水漏れが起きたとき大きな損害につながる可能性があります。



ご使用にあたってのお願い

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、メインリモコンで時刻を合わせ直してください。

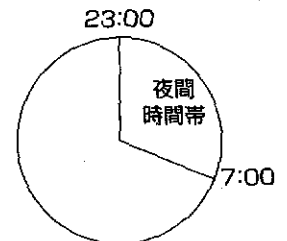


「時間帯別電灯」料金制度の場合

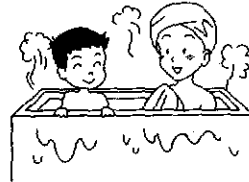
時刻がずれていると、タンク内をわき上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

入浴時のお願い

入浴は、できるだけ夜間時間帯（メインリモコンの「沸上中」が表示されているとき）を避けて連続して行うようにしてください。



夜間時間帯は、地域によって異なります。



夜間時間帯にお湯を使うと、翌日の湯温が低くなり、お湯がたりなくなることがあります。

「高温さし湯」についてのお願い

高温さし湯を行うと、循環金具から、熱いお湯（約80℃または約60℃）が出ます。お子さまや高齢者の方の取扱いについては、特に注意してください。



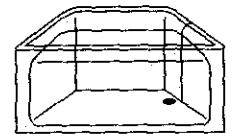
安全のため、高温さし湯スイッチは3秒以上押さないとお湯が出ません。

湯はり時のお願い

湯はりをするときは、次のことをご確認ください。

- 浴槽の残水を排水して排水栓を閉じる

残水があると、湯はりがしないときがあります。



- 浴槽のふたをする



お湯の上手な使いかた

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。お湯は大切に使ってね



- シャワーは必要なときだけ（髪を洗っているときは止めましょう。）



- 洗いものをするときには必要なときだけ

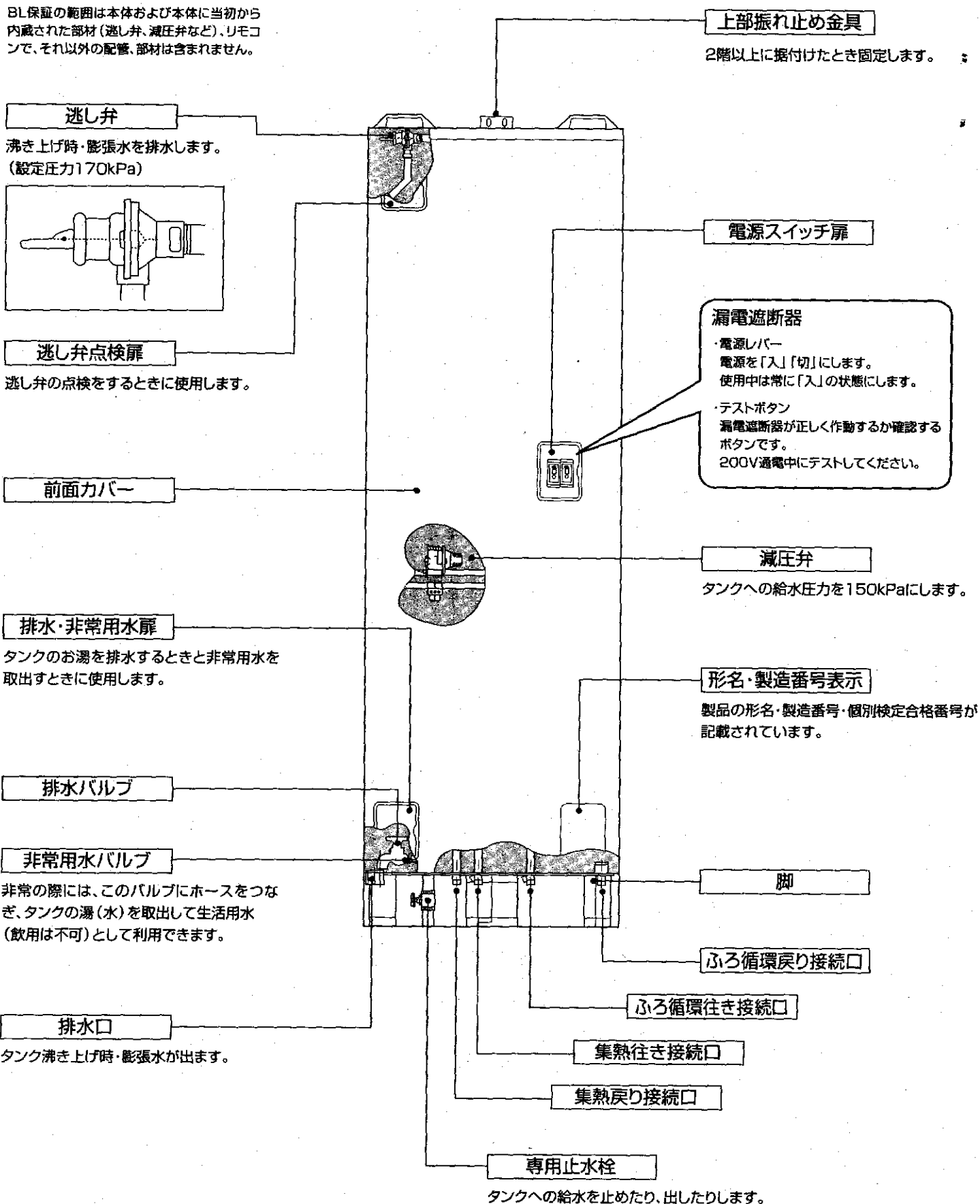


高圧力型のため、出湯量は従来の温水器よりも約20%程度多くなります。シャワーを使うときや、洗いものをするときなどは、こまめに止めましょう。流しっぱなしにすると湯切れの原因となります。

各部のなまえ (本体・本体周辺部)

本体

BL保証の範囲は本体および本体に当初から内蔵された部材(逃し弁、減圧弁など)、リモコンで、それ以外の配管、部材は含まれません。

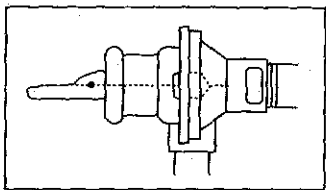


上部振れ止め金具

2階以上に据付けたとき固定します。

逃し弁

沸き上げ時・膨張水を排水します。
(設定圧力170kPa)



逃し弁点検扉

逃し弁の点検をするときに使用します。

前面カバー

電源スイッチ扉

漏電遮断器

- 電源レバー
電源を「入」「切」にします。
使用中は常に「入」の状態にします。
- テストボタン
漏電遮断器が正しく作動するか確認するボタンです。
200V通電中にテストしてください。

減圧弁

タンクへの給水圧力を150kPaにします。

排水・非常用水扉

タンクのお湯を排水するときと非常用水を
取出すときに使用します。

形名・製造番号表示

製品の形名・製造番号・個別検定合格番号が
記載されています。

排水バルブ

非常用水バルブ

非常の際には、このバルブにホースをつな
ぎ、タンクのお湯(水)を取出して生活用水
(飲用は不可)として利用できます。

脚

排水口

タンク沸き上げ時・膨張水が出ます。

ふろ循環戻り接続口

ふろ循環行き接続口

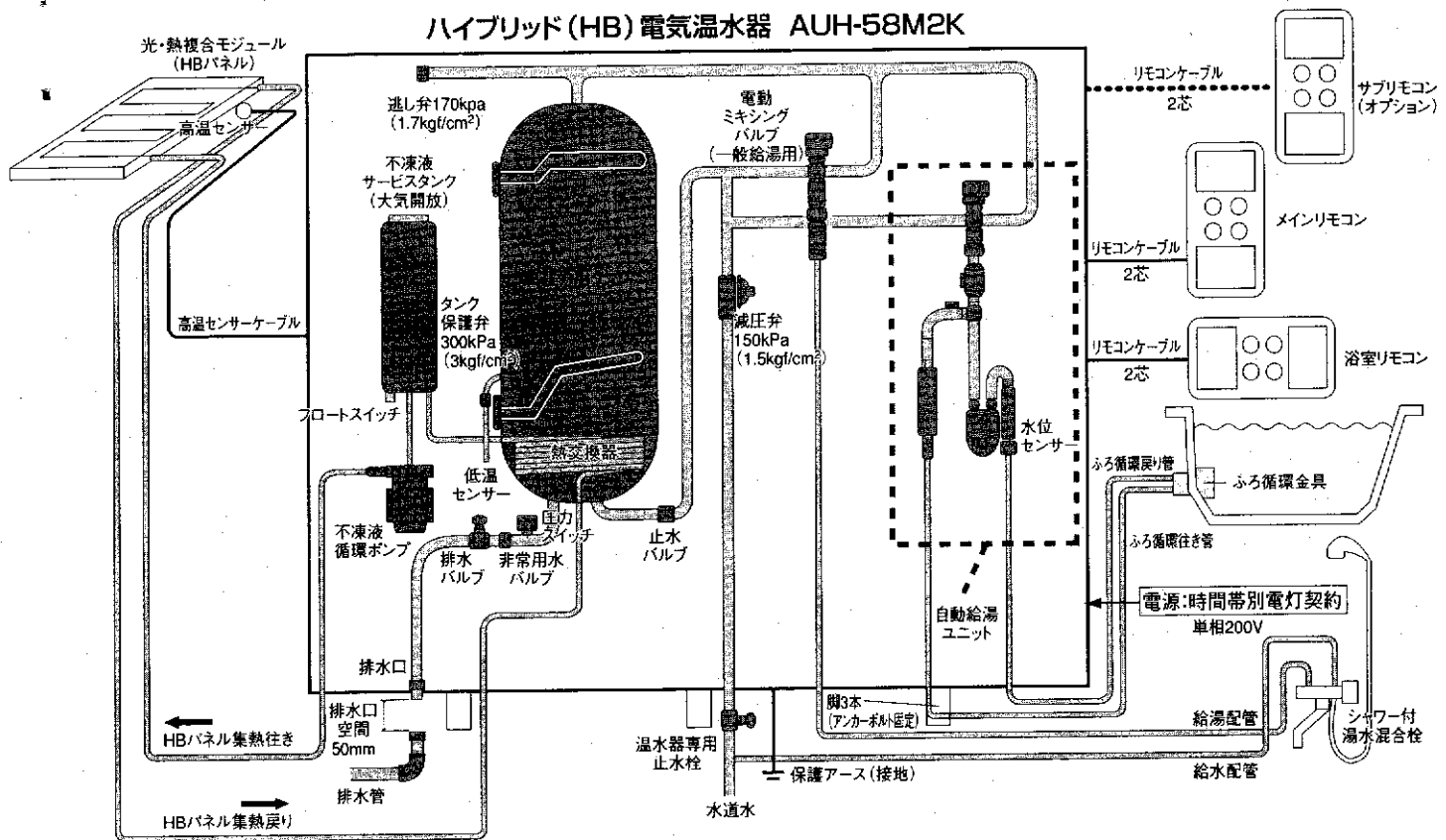
集熱行き接続口

集熱戻り接続口

専用止水栓

タンクへの給水を止めたり、出したりします。

本体周辺部および主な内部構造

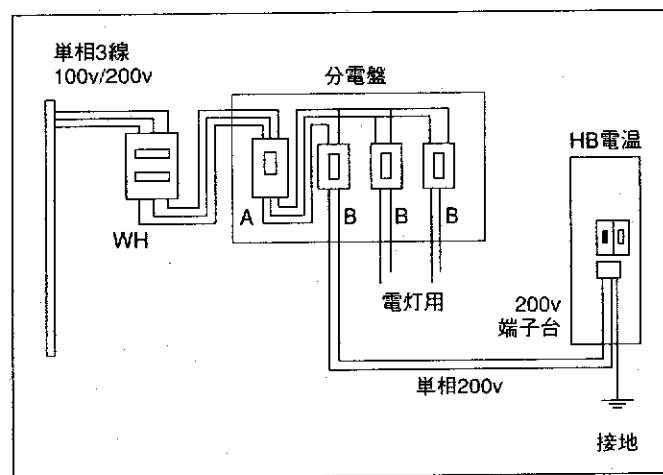


風呂循環配管

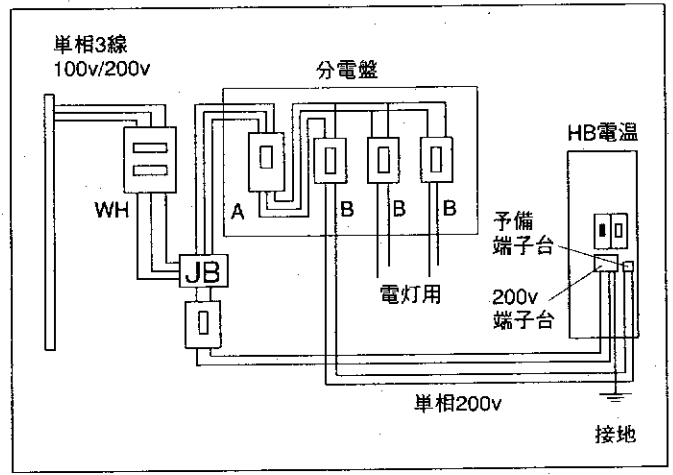
- 15Aまたは13A
- 15m10曲り以内
- 浴槽設置範囲 (H: -0.3m~4m)
- 鳥居配管および階下給湯禁止

● 配線例

■ 「時間帯別電灯」対応通電制御型 (2通りあります。)



WH: 電力量計 (2時間メーター) A: 親配線用遮断器 B: 配線用遮断器



WH: 電力量計 (2時間メーター) A: 親配線用遮断器 B: 配線用遮断器 JB: ジョイントボックス

メインリモコンのスイッチについて

表示部

- 電源: 200V通電の表示です。
- 沸上中: 電気ヒーターで沸き上げ中に表示します。
- 高温: 50・60℃給湯のとき表示します。
- 湯切れ注意: 残り湯が50%になったとき表示します。
- 残湯量: 残り湯量を表示します。

例) 150L表示は150%以上残り湯があるとき
100L表示は100%~150%残り湯があるとき

- タンク沸上温度: 沸き上げ温度設定の表示をします。

- 沸き増し: 昼間電力で沸き上げ設定すると表示します。

- 時間帯別: 時間帯電灯契約のとき表示します。
- 深夜電力: 深夜電力契約のとき表示します。
- 湯はり予約: 湯はり予約したとき表示します。
- るすばん予約: るすばん予約したとき表示します。
- エラー: エラーのコードを表示します。
- 現在時刻: 午前午後の時刻を表示します。
- ℃: タンク内の温度を表示します。
- 泊: るすばん予約の設定泊数を表示します。

集熱中

- 集熱運転中に表示します。

集熱量バー表示

- 集熱された1日分の熱量を表示します。
- 24時間でクリアします。

給湯温度設定ボタン

- 優先ボタンが押されているときのみ有効です。
- 温度が変えられる範囲
35℃~48℃(1℃ごと) 50℃、60℃
- 「 ボタン」音声で「あつく」と伝えます。
- 「 ボタン」音声で「ぬるく」と伝えます。
- 優先ボタンが押されていない状態で「」「」ボタンを押すと「給湯温度は変更できません」と伝えます。

ふる自動ボタン

- 設定温度、設定水位の湯はりを開始します。
- 「湯はります」と音声で伝えます。
- 湯はりが完了するとメロディ: 「お風呂が沸きました」と音声で伝えます。
- 途中でやめたいときは、もう一度押します。
- 自動湯はり後、自動保温・自動足し湯の運転に入り6時間でオートオフになります。

沸き上げ温度切り替えボタン

- 沸き上げ温度の切替をします。
[高] 約90℃に沸き上げます。
[おまかせ] 約70~90℃の温度で沸き上げます。

湯温表示ボタン

- タンク内の温度を表示部に表示します。

音量ボタン

- 音量レベルを設定します。
- 押すごとに [標準]→大→消す→小→標準 となります。
- 音声で「音量は標準です」「音量は大です」「音量を消します」「音量は小です」と伝えます。

優先ボタン

- このボタンを押すとメインリモコンで一般給湯温度を操作できます。
- 押すとランプが点灯し、温度変更ができます。
- 音声で「給湯温度が変更できます」と伝えます。

沸き増し設定ボタン

- 昼間電力で沸き上げるとき使います。
[1日] 1日のみ、1日中「沸き増し」します
[毎日少] 毎日、100%のみ「沸き増し」します
[毎日多] 毎日、1日中「沸き増し」します

るすばん予約ボタン

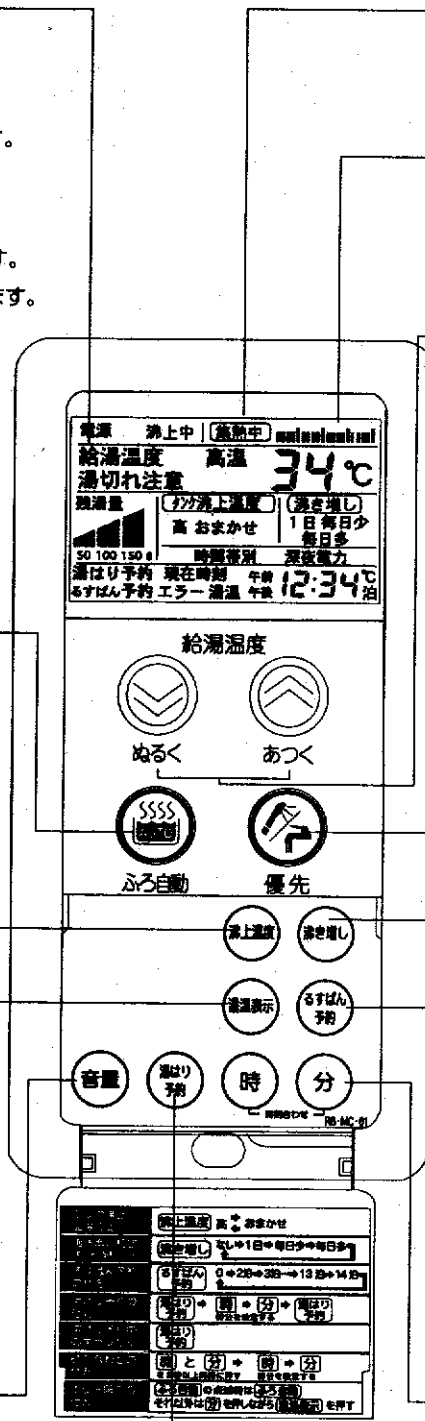
- タンク沸き上げ停止日数を設定します。
- 外出する泊数を設定します。
- 設定は「0、2、3……14、0、2」
「0」はキャンセル、最大14まで設定できます。

時・分ボタン

- 時刻合わせ、予約時刻合わせをするときに押します。
- 時刻は、12時間表示です。

湯はり予約ボタン

- 入浴予約時刻を設定します。



浴室リモコンのスイッチについて

呼び出しボタン

- このボタンを押すとメインリモコンからも呼び出し音が鳴ります。

表示部

- 優先:点灯時は浴室リモコンが優先です。
- 高温:50・60℃給湯のとき表示します。
- 45℃:給湯の温度
- 予約:湯はり予約が有りのとき表示します。
- 12:00:現在時刻を表示します。
- 42:風呂給湯の温度を表示します。
- 水湯:水湯どちらが出ているか表示します。
- 保温:浴槽の保温中に表示します。
- :水・湯が出ているとき表示し、消灯します。

優先ボタン

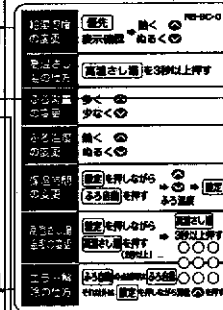
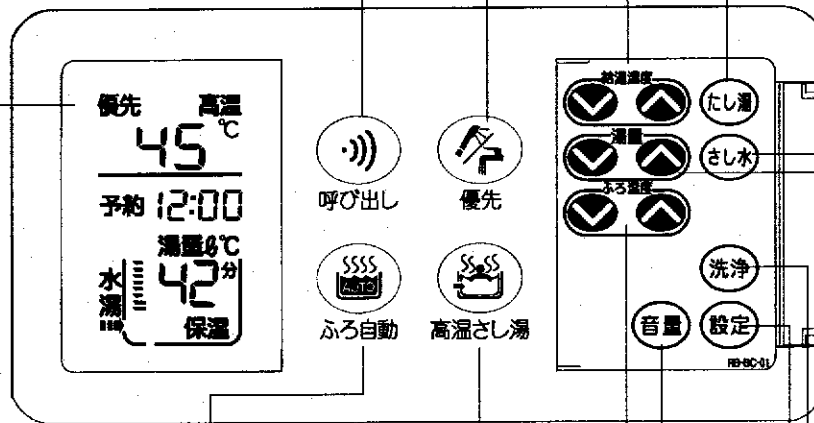
- このボタンを押すと浴室リモコンで一般給湯温度を操作できます。
- 押すとランプが点灯し、温度変更ができます。
- 音声で「給湯温度が変更できます」と伝えます。

給湯温度設定ボタン

- 優先ボタンが押されている場合のみ有効です。
- 変えられる温度範囲は35℃~48℃(1℃ごと)、50℃、60℃です。
- 「▲ボタン」音声で「あつく」と伝えます。
- 「▼ボタン」で音声で「ぬるく」と伝えます。
- 優先ボタンが押されていない状態で「▲▼」ボタンを押すと音声で「給湯温度は変更できません」と伝えます。

たし湯ボタン

- 設定温度のお湯を2分間注入します。
- 動作中にもう一度押すとキャンセルされます。



ふる自動ボタン

- 押すと点灯し、自動湯はりを開始します。
- 音声で「湯はりします」と伝えます。
- 途中でやめたいときは、もう一度押します。
- 湯はりが完了すると、メロディと音声で「お風呂が沸きました」と伝えます。
- 自動湯はり後、自動保温、自動足し湯の運転になり6時間で自動が「切」になります。

音量ボタン

- 音声レベルを設定します。
- 押すごとに「標準→大→消す→小→標準」となります。
- 音声で「音量は標準です」「音量は大です」「音量を消します」「音量は小です」と伝えます。

さし水ボタン

- 風呂温度を1℃下げる量の水を注入します。
- 動作中にもう一度押すとキャンセルされます。

湯量設定ボタン

- 湯はり量を設定します。
- 「▲ボタン」音声で「湯量を多く」と伝えます。
- 「▼ボタン」音声で「湯量を少なく」と伝えます。
- 水位設定は8段階可能

高温さし湯ボタン

- 約60℃のお湯を2分間注入します。
- 音声で「熱いお湯が出ます。熱いお湯が出ます」と2回伝えます。
- 注入中はランプが点灯し、もう一度押すとキャンセルされます。
- 高温差し湯は、高温差し湯ボタンを3秒間押さないと出ません。

ふる温度ボタン

- 湯はり温度を設定します。
- 可変温度範囲は35℃~48℃(1℃ごと)
- 「▲ボタン」を押すと音声で「ふる温度をあつく」と伝えます。
- 「▼ボタン」を押すと音声で「ふる温度をぬるく」と伝えます。

洗淨ボタン

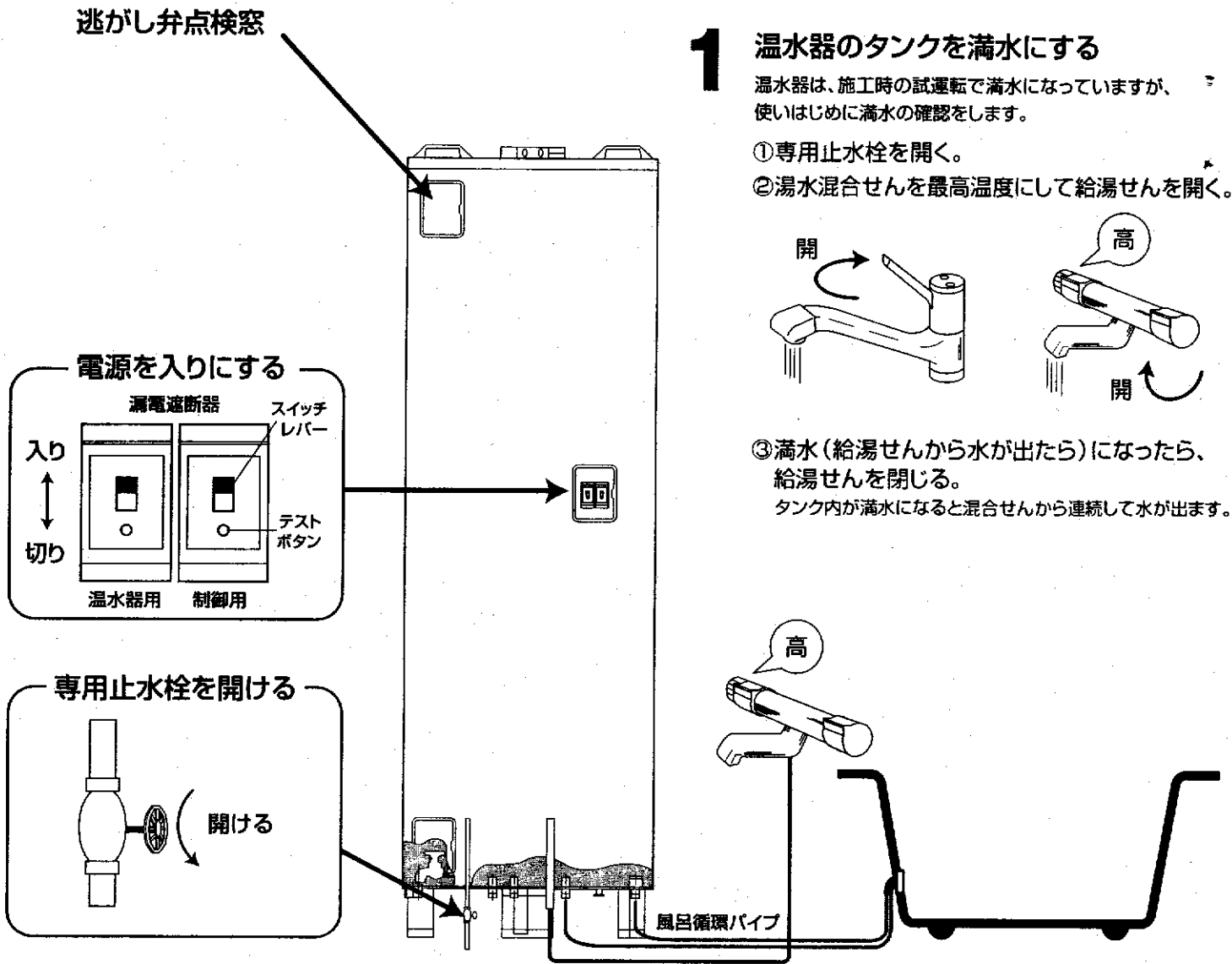
- 風呂循環配管内の水の入れ替えができます。
- 約2分間注水し、風呂配管内を洗淨します。

設定ボタン

- 特殊な設定をするときに使います。(メンテナンス用)

運転を開始する

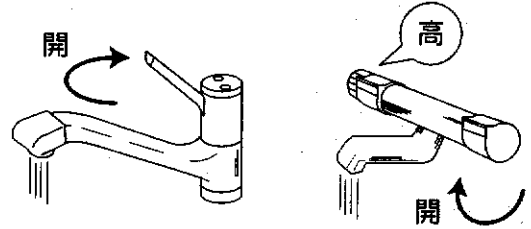
使いはじめは、次の手順でおこないます。



1 温水器のタンクを満水にする

温水器は、施工時の試運転で満水になっていますが、使いはじめに満水の確認をします。

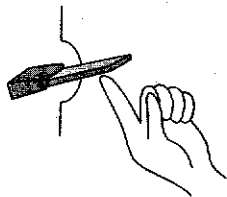
- ①専用止水栓を開く。
- ②湯水混合せんを最高温度にして給湯せんを開く。



- ③満水（給湯せんから水が出たら）になったら、給湯せんを閉じる。
タンク内が満水になると混合せんから連続して水が出ます。

2 電源を「入り」にする

- ①分電盤の200Vブレーカーを「入り」にする。



- ②温水器の漏電ブレーカーを「入り」にする。



注意

通電はタンクを満水にしてから行う

3 メインリモコンで温水器の設定をする

- ①時刻を合わせる。(10ページ)
- ②温水器の沸き上げ温度を設定する。(11ページ)
リモコンの電源、「沸き上げ中」の表示を確認してください。

4 お湯を使う

翌朝から、お湯は使えます。

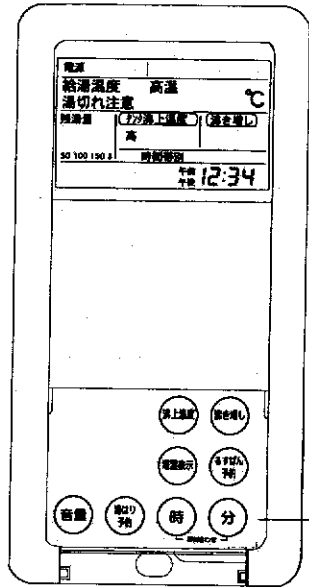


注意

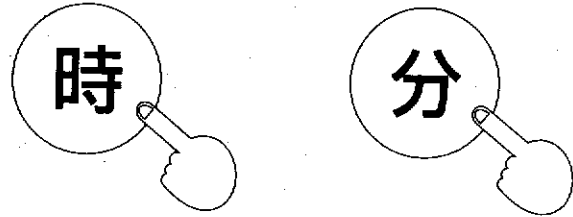
使いはじめはやけどに注意してください。

時刻を合わせる

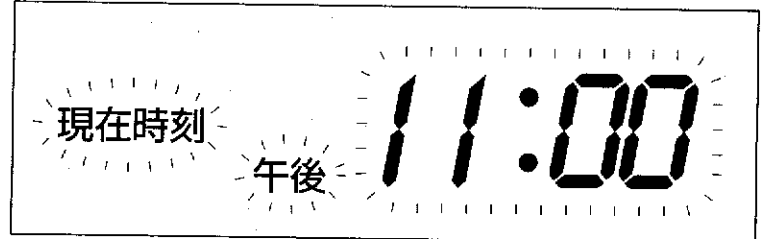
温水器のお湯を沸かすために時刻を合わせます。
 現在時刻が合っていないと、電気料金が割高になることがあります。



1 ①(時) ②(分)を同時に2秒程度長押しする。



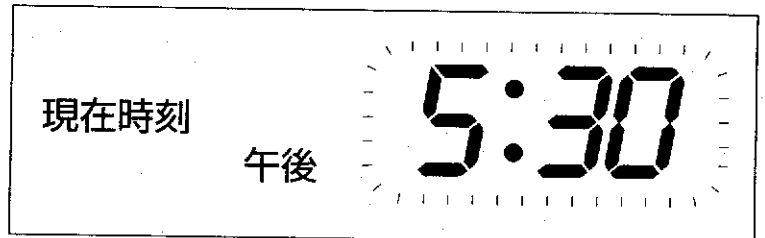
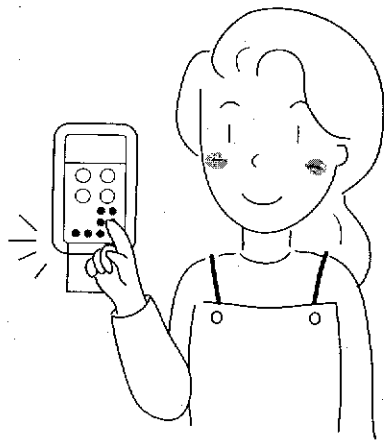
初期状態(リセット時、お買いあげ時)は午後11:00が点滅します。
 表示部が点滅中に



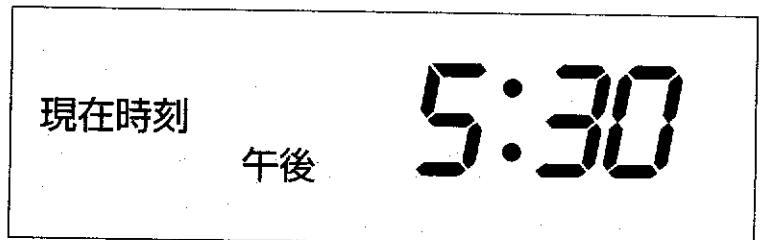
2 ③(時) ④(分)を押して時刻を合わせる。

- ③(時)を押すと、1時間ずつ時刻の表示が進みます。
- ④(分)を押すと、1分間ずつ時刻の表示が進みます。
- スイッチを押し続けると、数字は連続して進みます。

例) 午後5時30分に時刻を合わせます。



約10秒間経過すると時刻が点灯になり、時刻設定が完了します。



浴室リモコンは、自動的に時刻が設定されます。

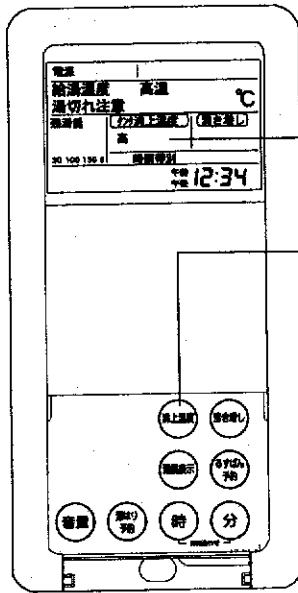
お願い

- 時計の精度は、月差で約1分間です。時刻が進んだ場合や、遅れた場合は時刻合わせをしてください。
- 2時間以上停電があった場合や、長時間電源を切りにした場合は、時計は[午後11:00]が点滅しますので必ず現在時刻に合わせてください。

温水器の湯温を設定する

使用湯量に合わせて、温水器の沸き上げ温度を設定してください。湯切れ防止のため、湯温設定は[高]に設定してください。

メインリモコン



リモコン表示部

タンク沸上温度
 高 おまかせ

どちらか表示

お買いあげ時の設定	高
変更できる設定	高・おまかせ

沸上温度

押すごとにタンク沸上温度表示が順に変わります。
 高→おまかせ→高
 表示されたものが設定されます。

タンク沸上温度表示	沸き上げ温度	使用される状況
高	約90℃	・初めて使用するとき ・通常使用するとき
おまかせ	約70℃~90℃	・お湯の使用が毎日一定のとき ・お湯の使用量が少ないとき

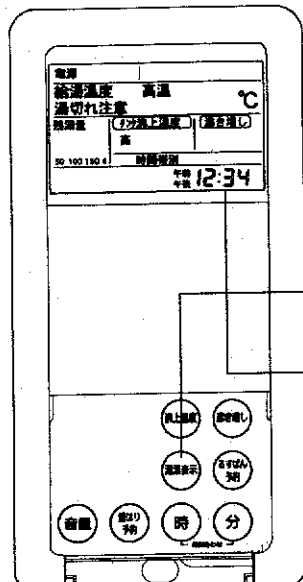
- [おまかせ] は、お湯の使用状況と給水温度により、沸き上げ温度をマイコンが計算して、沸かしすぎを押さえて電気代を節約するものです。
- 沸き上げ温度は、沸き上げ直後の湯温で設定に対して2~3℃ばらつくことがあります。
- 湯温は、時間の経過とともに少しずつ(季節によって1時間に0.5~1℃)低下します。

お願い

- [おまかせ] でご使用中、翌日来客などでお湯をたくさん使用されることが予測される場合は、[高]に設定してください。

温水器の湯温を表示する

メインリモコン




湯温表示

現在時刻の表示が消え、温水器の湯温表示になります。

リモコン表示部

湯温 88℃

数秒間表示して、現在時刻表示に戻ります。



沸き上げを停止する(るすばん予約)

旅行などで何日間もお湯を使わないときに、温水器の沸き上げを停止することができます。

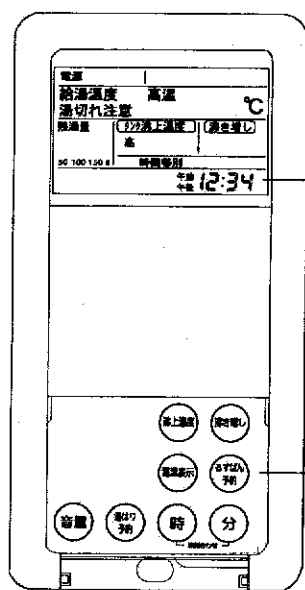
●設定できる範囲は、2日～14日間です。

沸き上げ停止日数の決め方

例) 3泊4日の旅行の場合、沸き上げを停止したい。
泊数 **3** をリモコンで設定してください。

例) 5泊6日の旅行の場合、沸き上げを停止したい。
泊数 **5** をリモコンで設定してください。

●帰宅日には、朝からお湯は沸いています。



リモコン表示部

予約前

現在時刻

午後

8:30

1

るすばん
予約

るすばん予約

0泊

2

るすばん
予約

るすばん予約

2泊

3

るすばん
予約

ボタン押すごとに数字が

0 → 2 → 3 → 4 → 5 → …… 12 → 13 → 14 → 0 → 2
と変化します。

4

るすばん
予約

るすばん予約

3泊

5

予約完了

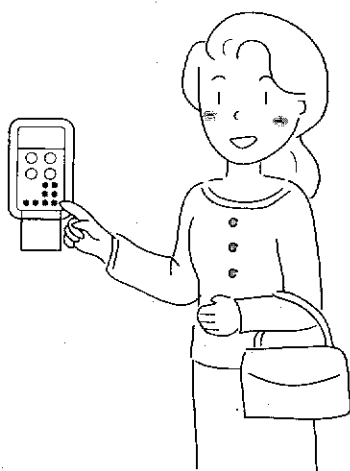
るすばん予約

3泊

解除するとき

るすばん
予約

ボタン押して0泊にする



たくさんお湯を使いたい (沸き増し)

時間帯別電灯契約でお使いの場合

来客などでたくさんお湯の使用が予測される時は、あらかじめ[沸き増し]設定しておくことで昼間時間帯に必要な応じてお湯を沸き上げるので湯量不足を防ぐことができます。

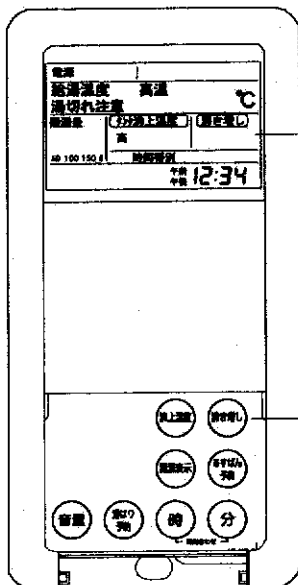
(深夜電力契約でお使いの場合は沸き増しができません。)

沸き増しのしくみと設定の目安

沸き増し	毎日少	毎日多	1日
	毎日、残り湯が100L切ると、100L沸き増しする	毎日、タンクのお湯が減ると沸き増しする	1日に限りタンクのお湯が減ると沸き増しする
設定の目安	冬季や家族数の多いときなど湯量不足が予測される場合	冬季や家族数の多いときなど湯量不足が予測される場合	来客があり湯量不足が予測される場合
しくみ			
	<ul style="list-style-type: none"> ●湯は、湯温設定の温度に沸き上げたもの。 ●水は、ソーラーで加熱したものの場合と給水温度のままの場合とがあります。 		

[沸き増し]設定のしかた

メインリモコン



沸き増し

ボタンを押すと沸き増しの表示が順に変わります。表示されたものが設定されます。

リモコン表示部

沸き増し

1日 → 毎日少 → 毎日多 → (表示なし)
→ 1日 → 毎日少 … くりかえし …

[沸き増し]しないときは、沸き増しの表示を消してください。

- 沸き増しは、昼間電力で沸き上げるので電気料金が割高になります。
- 沸き増しの温度設定は、温水器の[沸き上げ温度]とおなじです。温水器の「沸き上げ温度」が「おまかせ」の場合おまかせの設定となります。「高」設定をおすすめします。

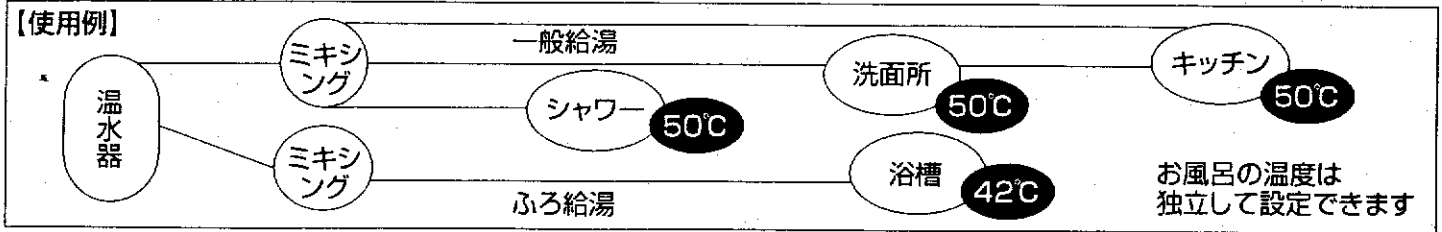
給湯温度を設定する

キッチン、洗面、シャワーなどの一般給湯の湯温をコントロールできます。メインリモコンと浴室リモコンどちらからでもできます。メインリモコンと浴室リモコンどちらか優先を決めて行ってください。

- 初期(お買いあげ時)の設定温度は、42℃で優先権はメインリモコンです。
- 設定できる温度は、35~48℃(1℃ごと)50℃、60℃です。

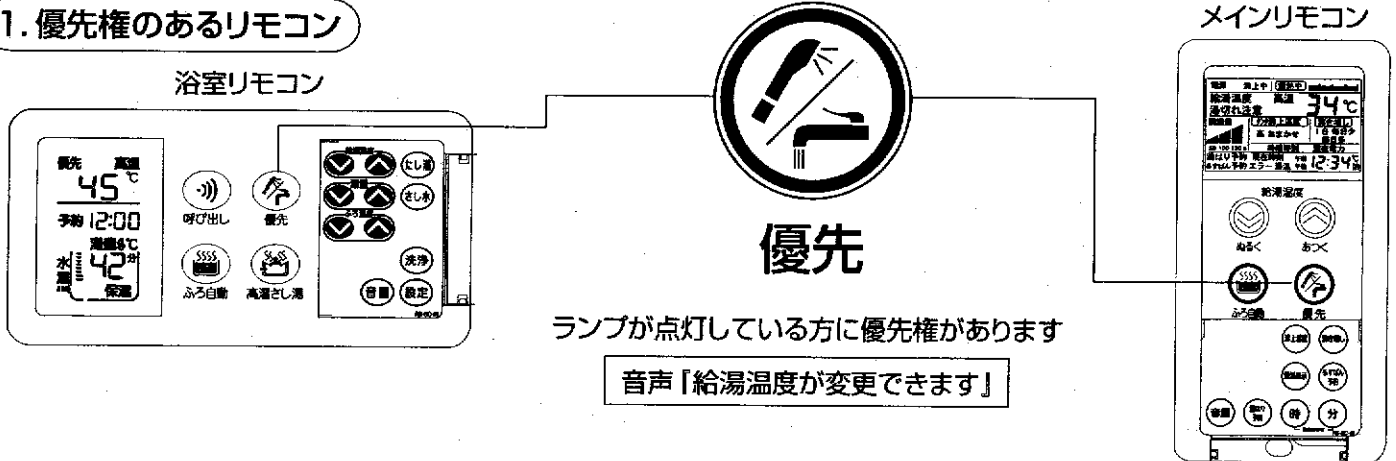


やけどに注意
給湯温度の変更は、他の蛇口の使用を確認してから行う。
浴室でシャワーを使用しているときは、給湯温度の変更はしない。



お願い ●サーモスタット付湯水混合栓の場合は、リモコンの給湯温度の設定は使用するお湯の温度よりも約10℃高めに設定してください。

1. 優先権のあるリモコン



2. 優先権のあるリモコンで給湯温度を決める

優先権のないリモコンで給湯温度の変更はできません。また給湯温度の変更ボタンを押したときは、音声「給湯温度が変更できません」と伝えます。

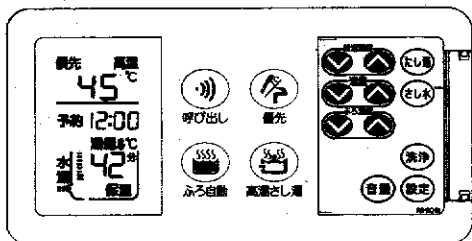
<p>■浴室リモコンで給湯温度を上げる</p> <p>リモコン表示部 高温 60℃</p> <p>メインリモコンの音声 「給湯温度が変更されました」</p>	<p>■メインリモコンで給湯温度を上げる</p> <p>浴室リモコンの音声 「給湯温度が変更されました」</p>
<p>■浴室リモコンで給湯温度を下げる</p> <p>リモコン表示部 40℃</p> <p>メインリモコンの音声 「給湯温度が変更されました」</p>	<p>■メインリモコンで給湯温度を下げる</p> <p>浴室リモコンの音声 「給湯温度が変更されました」</p>

- 「音声」は、優先ランプの点灯しているリモコンが「音声「あつく」」
他のリモコンは、「音声「給湯温度が変更されました」」と伝えます。

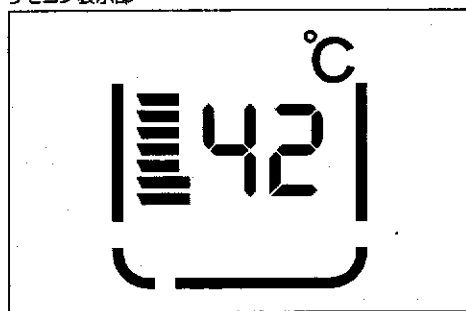
お風呂に湯はりをする

1 湯温を設定する

浴室リモコン

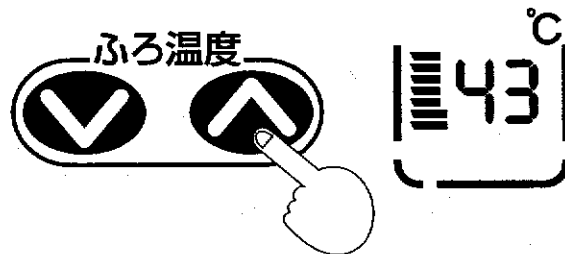


リモコン表示部



- 初期設定(お買いあげ時)は42℃です。
- 変えられる温度範囲は、35℃~48℃で1℃ごと変更できます。

ふろ温度ボタンを押して温度を上げる



音声「ふろ温度をあつく」 1℃ずつ設定温度が高くなります。

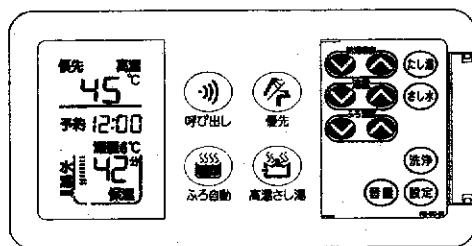
ふろ温度ボタンを押して温度を下げる



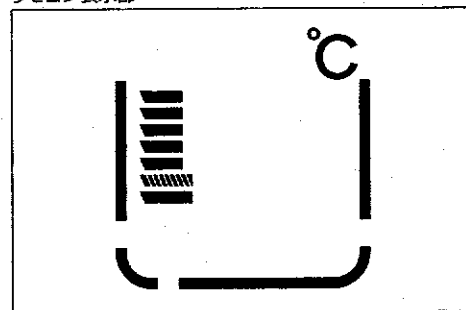
音声「ふろ温度をぬるく」 1℃ずつ設定温度が低くなります。

2 湯量を設定する

浴室リモコン



リモコン表示部



- 表示の一目盛りは約4cmです。(浴槽の水位)
- 初期設定(お買いあげ時)は下から2番目です。
- 目盛りの最下位は浴槽循環金具から約10cm上の位置です。

湯量ボタンを押して湯量を下げる



音声「湯量を少なく」 一目盛り(約4cm)ずつ水位が下がります

湯量ボタンを押して湯量を上げる



音声「湯量を多く」 一目盛り(約4cm)ずつ水位が上がります

お願い

●浴槽容量の確認/浴槽容量よりも湯量を多く設定すると、浴槽からお湯があふれます。
/使用している浴槽の容量に合わせたご使用をお願いします。

3 湯はりする

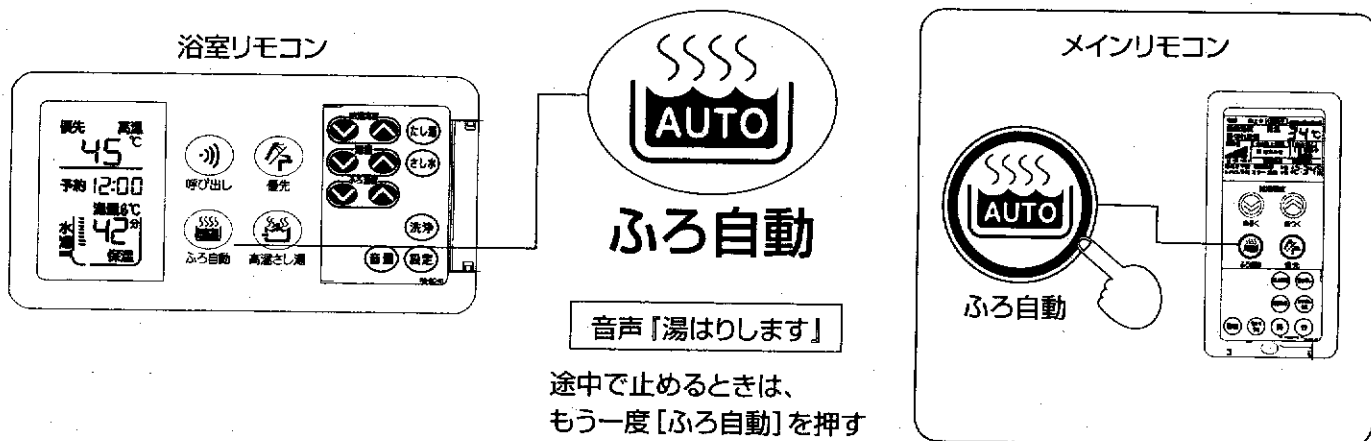
【ふる自動】ボタンを押すだけで、あらかじめ設定した湯温・湯量で湯はりができます。湯はりが終わると、自動保温と自動たし湯を行います。ふる自動運転は、約6時間継続します。ふる自動継続時間は変更可能(1~12時間)です。(20ページ参照)

●湯はり時間の目安

湯はり湯温42℃、湯はり湯量約200L

1階浴槽:約15分~20分 2階浴槽:約20分~30分

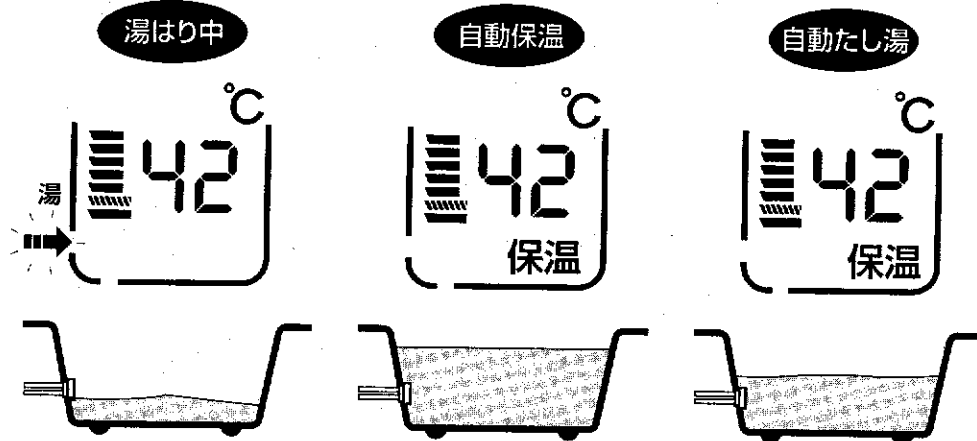
ただし、配管の長さ・水圧・他の水栓の使用状況によりばらつきがあります。



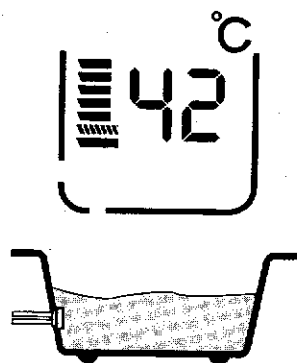
リモコン表示部

■ふる自動の動作

メロディー・音声 「お風呂が沸きました」



■【ふる自動】解除したとき



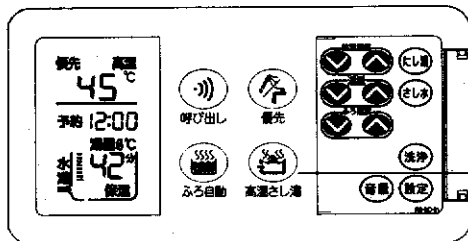
- 【ふる自動】の継続時間完了後、自動運転は解除されますが、もう一度【ふる自動】を押すと、自動運転を延長できます。
- 湯はり中に、シャワーなどでお湯を使うと、湯はり時間が長くなることがあります。
- 湯はり中に、湯はりを中断して循環ポンプが運転することがありますが通常の運転です。(浴槽の水位を計測しています)
- 自動たし湯は、水位がすぐには回復しないことがあります。

お願い

- 初回湯はりの際は、途中で湯はりを止めないで湯はり完了まで行ってください。初回湯はりで次回からの基準を取ります。
- 湯はり中は、途中で【ふる自動】を止めないでください。
- 湯はり中は、シャワーなどから浴槽へ湯や水を足さないでください。
- 湯はり中は、湯温や湯量の設定を変えないでください。
- 湯はり完了前に入浴しないでください。

4 おふろの湯温を上げる (高温さし湯)

お湯がぬるいとき、浴槽の湯温を上げるために約60℃のお湯を2分間注入します。



3秒間長押しする

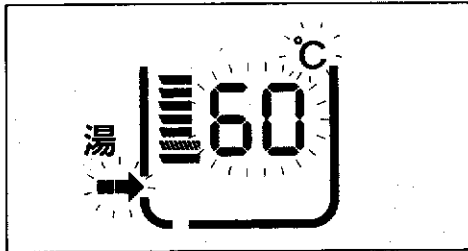


高温さし湯



やけどに注意

リモコン表示部



音声「熱いお湯が出ます」「熱いお湯が出ます」

途中で止めるときはもう一度を押す

- 高温さし湯中にエアーが出ることがあります。
- 湯はり中は使用できません。
- 最初は配管内の冷めた水が出ることがあります。

■高温さし湯の設定温度を変える

高温さし湯の湯温は、80℃にも設定できます。



やけどに注意

1. 設定ボタンを押しながら高温さし湯ボタンを3秒以上押しと高温さし湯ボタンが点滅します。

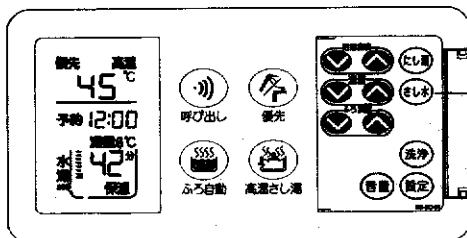
2. 高温さし湯ボタンが点滅しているうちに、高温さし湯ボタンを3秒以上押し。



- 沸き上げ温度が80℃以下のときは、80℃以下のお湯が出ます。
- 80℃設定は1回限りです。80℃さし湯した後は60℃設定に戻ります。
- 「高温さし湯」のランプが点滅しているうちに「高温さし湯」をしなかったときは60℃設定に戻ります。

5 おふろの湯温を下げる

お湯が熱いとき、浴槽の湯温を1℃下げる量の水を注入します。

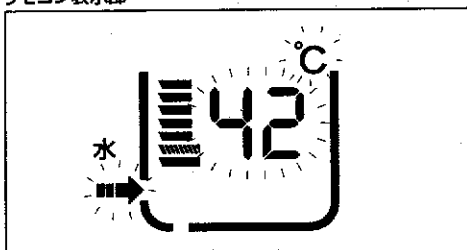


さし水

途中で止めるときはもう一度を押す

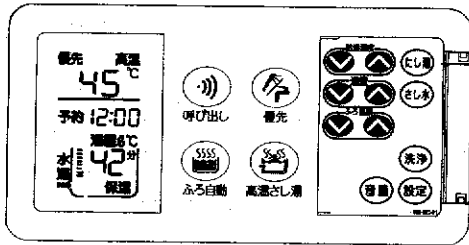
- さし水中にエアーが出ることがあります。
- 湯はり中は使用できません。

リモコン表示部



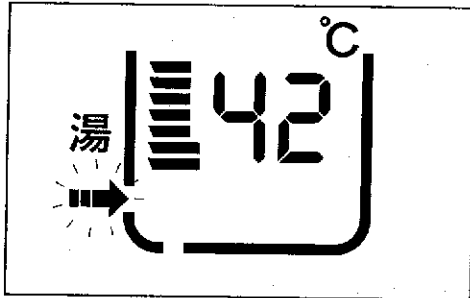
6 お風呂のお湯をたす(たし湯)

お湯が少なくなったとき、湯はりで設定した湯温のお湯を2分間注入します。



たし湯

リモコン表示部

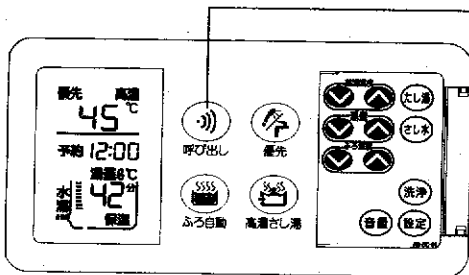


途中で止めるときはもう一度を押す

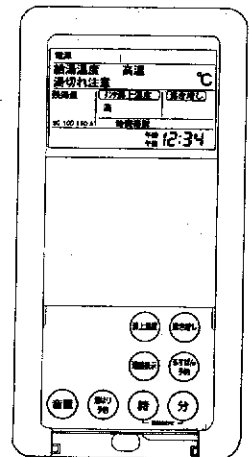
- たし湯中にエアーが出ることがあります。
- 湯はり中は使用できません。
- 最初は配管内の冷めた水が出ることがあります。

7 入浴中に人を呼ぶ(呼び出し)

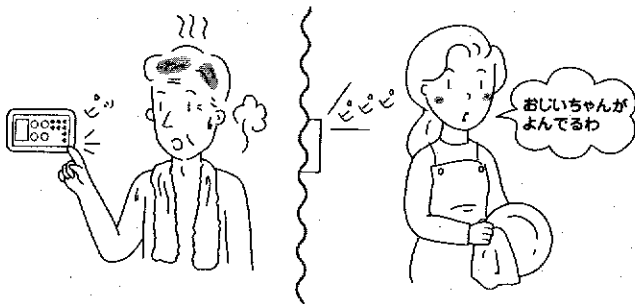
浴室で[呼び出し]ボタンを押すと、メインリモコン、浴室リモコン両方で呼び出し音になります。



呼び出し



「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」



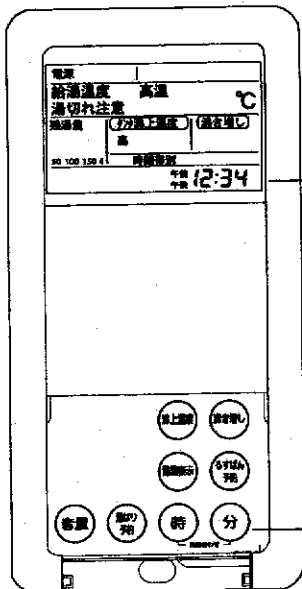
「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」「ピー・ピピピ」

8 湯はりの予約をする (湯はり予約)

予約した時刻にお風呂に入れるよう、湯はりの予約をします。予約は1日限りの予約です。

例) 午前10時に、午後7時30分の湯はり予約をする

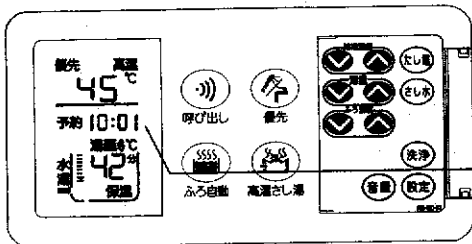
メインリモコン



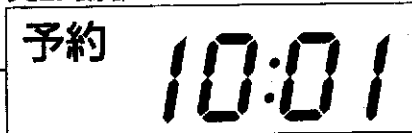
リモコン表示部



浴室リモコン



リモコン表示部

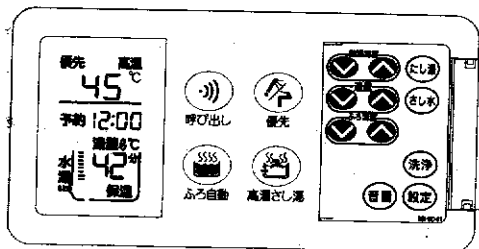


お願い

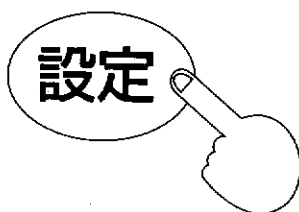
- [湯はり予約] は、予約設定時刻の1時間以上前におこなってください。1時間以内に設定した場合は、予約時刻に湯はりが完了しない場合があります。
- 湯はり予約時間が、現在時刻よりも前の場合には翌日の [湯はり予約] となります。
- 予約したときの湯はり完了は、予約時刻を目標にしています。

9 保温時間を変更する(ふろ自動継続時間の変更)

ふろ自動運転の継続時間を変更することができます。家族人数の多い少ないなどによって保温時間を変更してください。



1 [設定] ボタンを押しながら [ふろ自動] ボタンを押す。

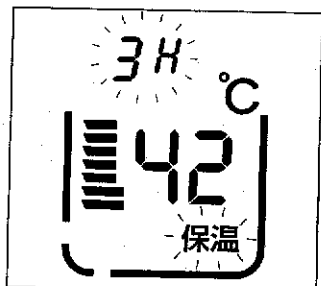
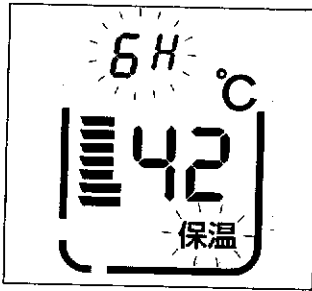


2 [ふろ温度] ボタンの ▲ ▼ を押して時間を変更する。

保温時間を3時間にする



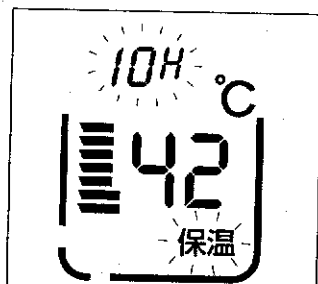
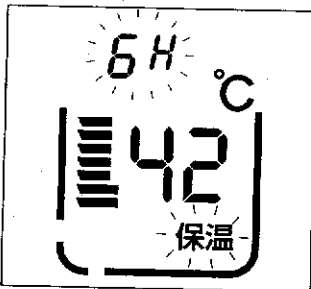
リモコン表示部



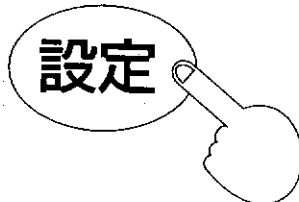
保温時間を10時間にする



リモコン表示部



3 保温時間の確定は、[設定] ボタンを押す。



- 保温時間は、1～12時間の間で1時間単位で変更できます。
- 初期設定(お買いあげ時)の設定は、6時間です。
- 次回からは、変更された時間で継続します。

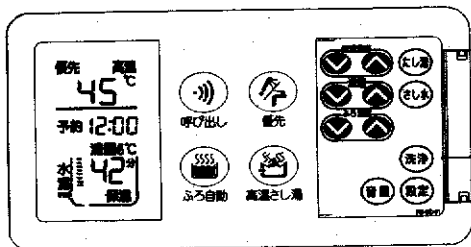
洗浄する

ふる循環配管を、洗浄します。

●ふる循環配管の洗浄は、温水器から水を出すことと、循環洗浄の2種類があります。

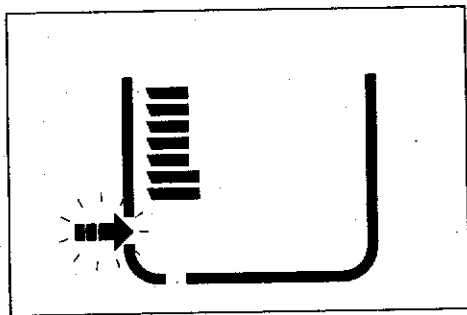
洗浄 (週1回程度)

ふる循環配管の行き、戻り配管から水を2分間出します。

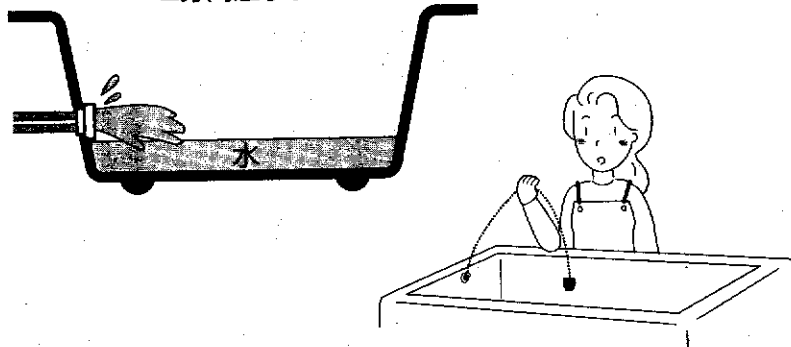


洗浄

浴室リモコンの[洗浄]ボタンを押す。



2分間注水する



●浴槽の湯を排水してから行ってください。

循環洗浄 (月1回程度)

浴槽に残り湯がある場合には、2分間循環を行った後、行き、戻り配管から水を2分間出します。

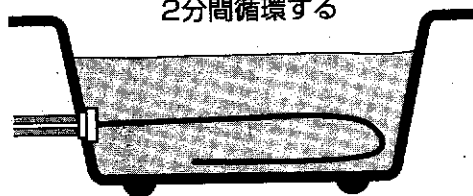
●入浴後、浴槽のお湯を残しておく(循環金具の上までであること)。

浴室リモコンの[設定]ボタンと[洗浄]ボタンを同時押しする。

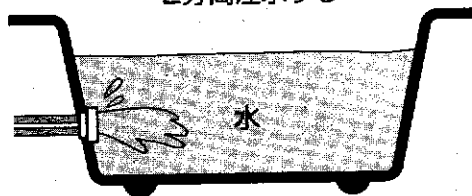
設定

洗浄

2分間循環する



2分間注水する



■入浴剤・洗剤のご使用について

- 硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、機器が腐食したり故障する原因となるものがありますので、入浴剤、洗剤の注意文をご覧の上ご使用ください。
- 浴槽に沈殿物が残るような入浴剤は使用しないでください。

リモコンの特殊な使いかた

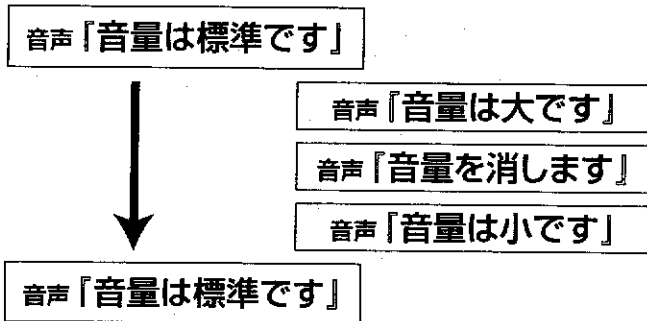
リモコンのスイッチの操作によりいろいろな使いかたがあります。

音量を変える(メインリモコン)

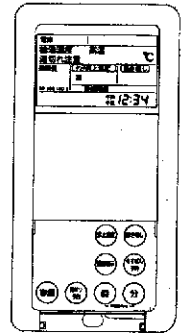
リモコンの音量が変更されます。

音量

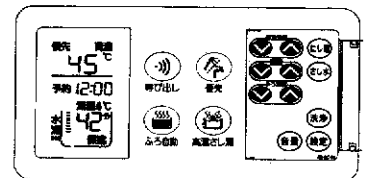
ボタンを押すごとに「標準 → 大 → 消す → 小 → 標準」と変わります。
 適当な音量でお使いください。



メインリモコン



浴室リモコン



エラーを解除する

使用ミスによるエラーは、解除することができます。

メインリモコン

分 を押しながらか **湯温表示** を押す

浴室リモコン

設定 を押しながらか **湯量** を押す

節電モードにする(浴室リモコン)

リモコンの表示を少なくして待機電力を減らします。

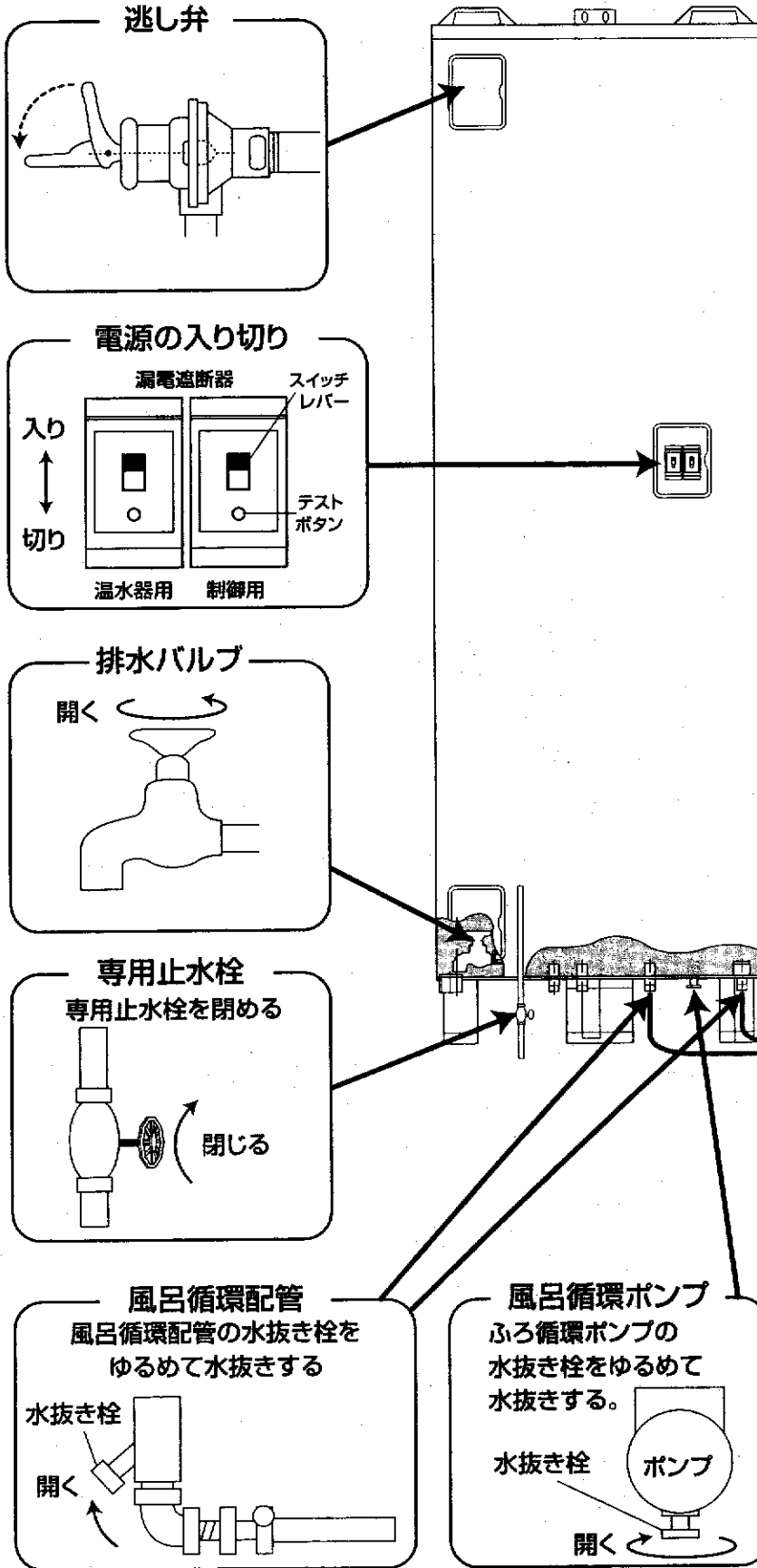
- 浴室リモコンの表示が時計のみとなります。
- 節電、モードを解除するには、再度同じ操作をしてください。

設定 を押しながらか **さし水** と **たし湯** を押す。

長期間使用しないとき

1ヵ月以上、温水器を使用しないときは温水器の運転を止めタンクの水抜きをしてください。

△ 注意 1ヶ月以上使用しないときはタンクの水を抜く。水質が変化することがあります。



- 1** 電源を[切り]にする
漏電遮断機のレバーを「切り」にする。
- 2** 温水器のお湯を抜く
タンク内を水にしてから抜いてください。温水器にお湯が残っている場合は、混合栓を開きお湯が出なくなるまでお湯を出してください。

△ 警告 排水時はやけどに注意する

- 3** 専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。
- 4** 逃がし弁を開ける
逃がし弁のレバーを下げることにより、空気をとりにれる。
- 5** 温水器タンクの排水栓を開ける
タンク内の湯水が出なくなるまで排水する。
- 6** 風呂循環配管の水を抜く
タンクの排水が終わったら風呂循環配管の水を抜いてください。

再使用のとき

1. 専用止水栓を開ける
- ↓
2. (2、3分)後、タンクの排水バルブを閉じる
- ↓
3. タンクが満水になり逃がし弁から水が出たら逃がし弁を閉じる
- ↓
4. 風呂循環配管と循環ポンプの水抜き栓を閉じる
- ↓
5. タンクの満水を確認して電源を入れる

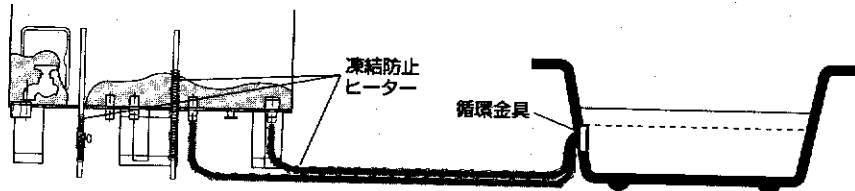
凍結防止について

冬季に外気温が0℃以下になる地域では、配管や機器が凍結して破損することがあります。工事店に相談し適切な凍結防止対策をしてください。
凍結防止の方法は、**凍結防止ヒーターによる**と**浴槽の残り湯循環による**があります。

凍結防止ヒーターによる



凍結防止対策を確認する
凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

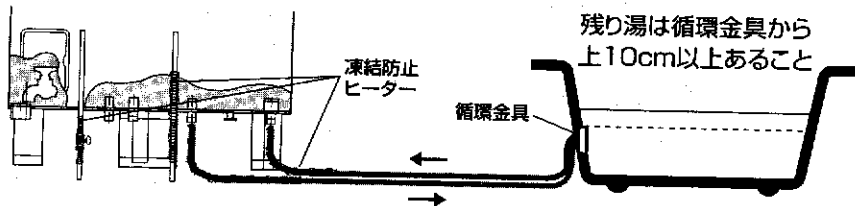


●給水・給湯配管の露出部および風呂循環配管に凍結防止ヒーターが巻いてあるか確認してください。

浴槽の残り湯循環による

リモコンを凍結防止運転モードにして浴槽と温水器本体の間の循環運転をする。

- 1.入浴後、排水せずお湯を残しておく。
- 2.リモコンの凍結防止設定は 1 (標準) か 2 (寒冷地) に設定する。

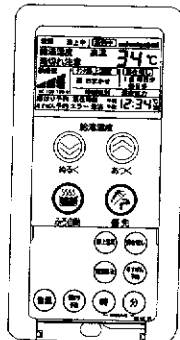


●給水・給湯配管および風呂循環配管の露出部に凍結防止ヒーターが巻いてあるか確認してください。

気温が低いとき、浴槽が空でも循環ポンプが運転することがありますが、浴槽の水の有無の確認のためであり、故障ではありません。

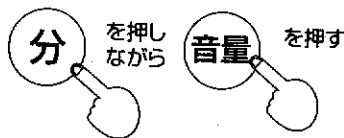
凍結防止運転の設定を変える。(設定は地域と季節に合わせて使用してください。)

メインリモコン

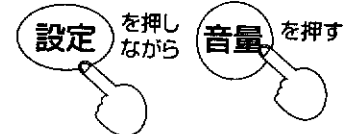
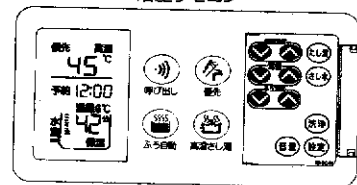


●お買いあげ時は、1 に設定しています。

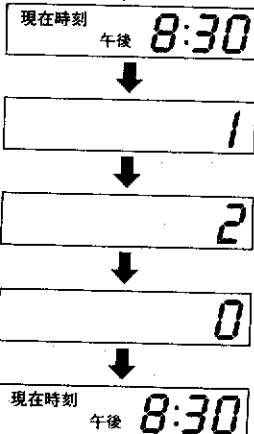
寒冷地は2に設定してください



浴室リモコン



リモコン表示部



■運転モードを選ぶ

- ① ボタンを押すごとに 1→2→0→1 表示が変わります。
- ② 1 または 2 を表示させてしばらく待つと設定されます。
- ③ 設定を確認してしばらく待つと時刻表示にもどります。設定は変更しない限り毎日有効です。

- 1 は 標準:外気温が低下すると一定時間ごとにポンプ循環運転します。
- 2 は 寒冷地:外気温に関係なく一定時間ごとにポンプ循環運転します。この時保温ヒーターに通電して凍結防止をします。
- 0 は凍結防止運転をしないモードです。

夏期以外は絶対に0に設定しないでください

リモコン表示部(標準)



リモコン表示部(寒冷地)



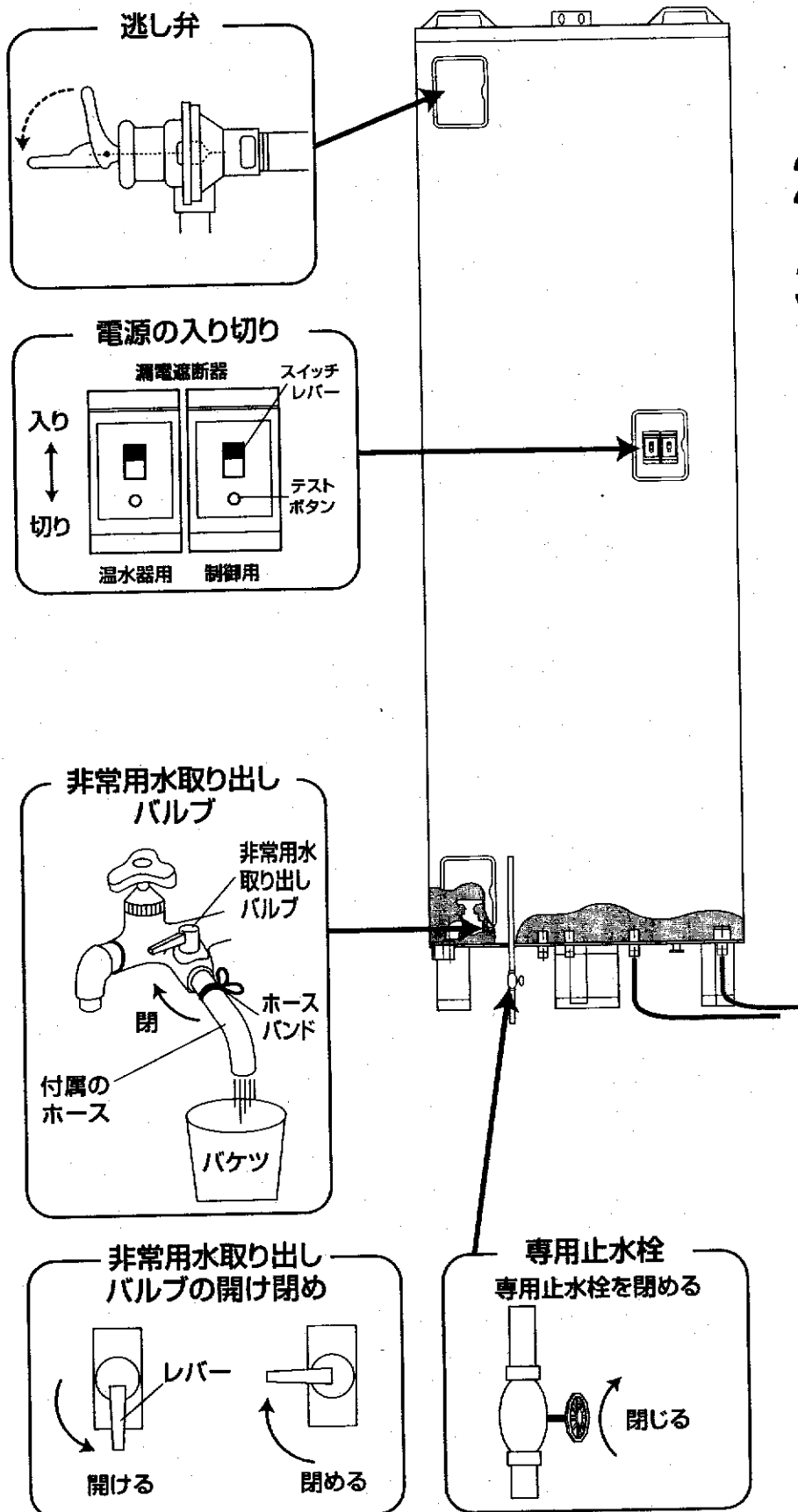
お願い

●凍結防止は自動的に行います。凍結防止の必要がないときは、運転モードを1にしてふらの残り湯を無しにしてください。

万一の災害時には 非常用水の取り出しバルブの使いかた

万一の災害や断水時には、タンクのお湯を生活用水として利用できます。このお湯(水)は、飲用は不可です。

注意 湯(水)取り出し時は、やけどに注意する



- 1** 電源を[切り]にする
漏電遮断機のレバーを「切り」にする。
- 2** 専用止水栓を閉じる
タンクへの給水を止めます。
- 3** 逃がし弁を開ける
逃がし弁のレバーを下げることにより、空気をとりいれる。
- 4** 付属のホースを非常用水取り出しバルブに取り付ける
バケツや洗面器などにお湯(水)を取り出すためにホースを取り付けます。
- 5** 非常用水取り出しバルブを開ける
タンク内の湯(水)を取り出します。
バケツや洗面器で受けて使用してください。

再使用のとき

1. 専用止水栓を開ける
- ↓
2. (2、3分)後、タンクの排水バルブを閉じる
- ↓
3. タンクが満水になり逃がし弁から水が出たら逃がし弁を閉じる
- ↓
4. タンクの満水を確認して電源を入れる

停電したとき

停電により、時刻がずれてしまった場合(時刻表示部は「午後11:00の点滅」)は、必ず時刻を合わせてください。また、温水器のわき上げ湯温や浴槽湯温・水位などの設定がかわった場合は再度、設定してください。

■時刻

時刻を合わせないと、「沸き上げできない」場合があります。また、正しい時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。

■停電後の使用方法

機器の使用中に停電した場合は、通電後、もう一度スイッチを押して使用してください。

※本機は、電気で作動しますので、停電中は使用できません。

なお、給湯・お湯はり量表示などもお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので確認してください。

定期点検のおすすめ(有料)

電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、定期点検(有料)を行ってください。定期点検については、据付工事店(販売店)または「セキスイ営業所」へご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

■定期点検の主な内容

項目	内容
据付け状態	設置、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品(配線、導通、動作の確認)、弁類(減圧弁、逃がし弁、混合弁、大気開放弁付電磁弁)などの点検
清掃	タンク内の清掃(沈殿物の除去など)
ソーラーの不凍液	ソーラーの不凍液は、約3年で効果がうすれますので、3年に一度定期的に交換してください。

日常の点検とお手入れ

漏電遮断器の点検 1ヶ月に1度

漏電遮断器の点検は、200V通電中に行ってください。

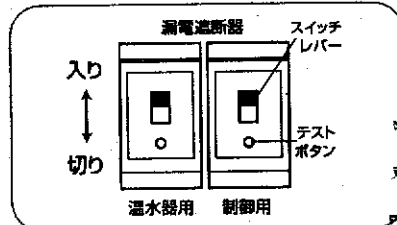
1. テストボタンを押す。

電源レバーが「入り」→「切り」になれば正常です。
「切り」にならない場合は、据付工事店に連絡してください。

2. テストが終われば必ず電源レバーを「入り」に戻す。



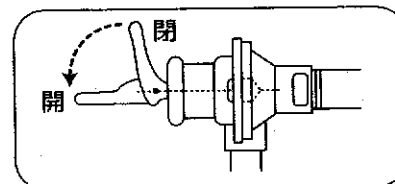
漏電遮断器の作動を確認する。



やけど注意
排水中は、配管に手を触れない。



逃がし弁の点検をする
タンクや配管が破裂して、
やけどの原因になります。



逃がし弁の点検 1ヶ月に1度

1. 逃がし弁の動作をみる

逃がし弁のレバーを上げ下げしてお湯(水)が排水口から出ることを確認する

- お湯(水)が排水口から出れば正常です。
- お湯(水)が排水口から出ない場合、またはレバーの動きが悪い場合は、電源を「切り」にして据付工事店に連絡してください。
- 動作確認後は必ずレバーを上げてください。

2. 逃がし弁の水漏れをみる

リモコンの「沸上中」の表示がないとき、お湯(水)が排水口から出ないことを確認する

- お湯(水)が排水口から出なければ正常です。
- お湯(水)が排水口から出ている場合は、レバーを2、3回上げ下げして湯(水)が止まるか確認してください。それでも止まらない場合は、電源を「切り」にして据付工事店に連絡してください。
- 動作確認後は必ずレバーを上げてください。

タンクの清掃 1ヶ月に1度

1. タンク排水バルブを開く(洗面器1杯程度の量を出してみる)。

タンクの下部にたまった汚れを排水してください。

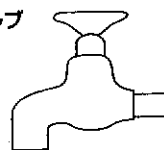
2. 排水の汚れが無くなったら排水バルブを閉める。

排水の汚れがひどい場合は、据付工事店に連絡してください。



やけど注意
排水中は、配管に手を触れない。

タンク排水バルブ



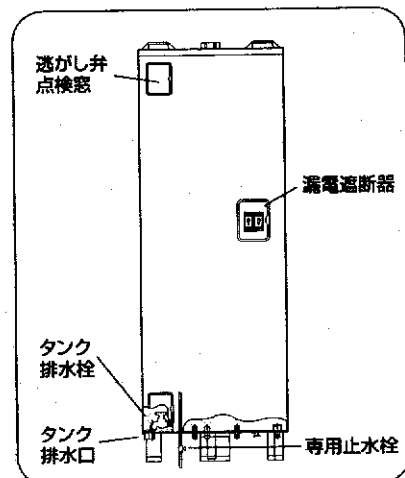
配管の点検 1ヶ月に1度

配管の水漏れや配管の保温材の破損がないか点検してください。

- 配管の水漏れがある場合は、電源200Vを「切り」にして、専用止水栓を止めて据付工事店に連絡してください。

ふろ循環配管の洗浄 1年に1度

21頁を参考にして洗浄してください。



浴槽循環金具のお手入れ

お湯はりに時間がかかるときなど循環金具のフィルターをはずして掃除してください。

1. 循環金具のフィルターをはずし、水洗いする。

汚れが落ちにくいときは、歯ブラシなどで取り除いてください。

2. 循環金具のフィルターをマークを上にして取り付ける。

元どおりに取りつけてください。



やけど注意

排水時は、お湯に手を触れない。

リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ベンジンやシンナーなどの化学薬品は使用しないでください。

ストレーナーの掃除

お湯や水の出が悪くなったときは、減圧弁のストレーナーの掃除が必要です。

●ストレーナーの掃除は、工事店またセキスイ営業所に依頼してください。

[手順]

①前面カバーを開ける。(ビス4本)

②専用止水栓を閉める。

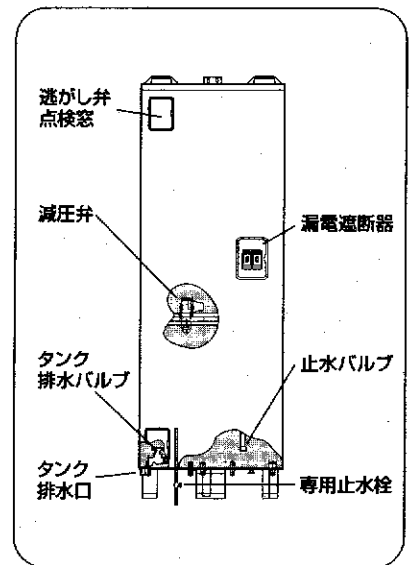
③タンクの下方の給水管の曲がり部分にある、止水バルブを閉める。

④減圧弁のストレーナーをはずし、あみを掃除する。

水洗いしても汚れが落ちないときは、歯ブラシなどで掃除してください。

ストレーナーをはずすときは、配管に残った水が出ますので周辺の機器に水がかからないよう容器やビニール袋などで受けてください。

⑤掃除が終わったら、ストレーナーを組み付け専用止水栓・止水バルブを開け通水してから水漏れを確認し、前面カバーを取り付ける。



集熱器を長年ご使用いただくため、次の要領でお手入れをお願いします。ただし集熱器は屋根の上など高所に設置されるため危険です。点検や手入れがお客様で処置できない場合は、お買い上げの販売店または、セキスイ営業所へ依頼してください。

集熱器の表面の清掃

ガラス表面が汚れると、集熱効率が低下して湯温が上がりにくくなります。

積雪のとき

集熱器の取付角度や雪質にもよりますが、50cmを越える積雪のときは、集熱器をこわさないように注意しながら除雪してください。除雪は危険作業ですので工事店などに依頼してください。

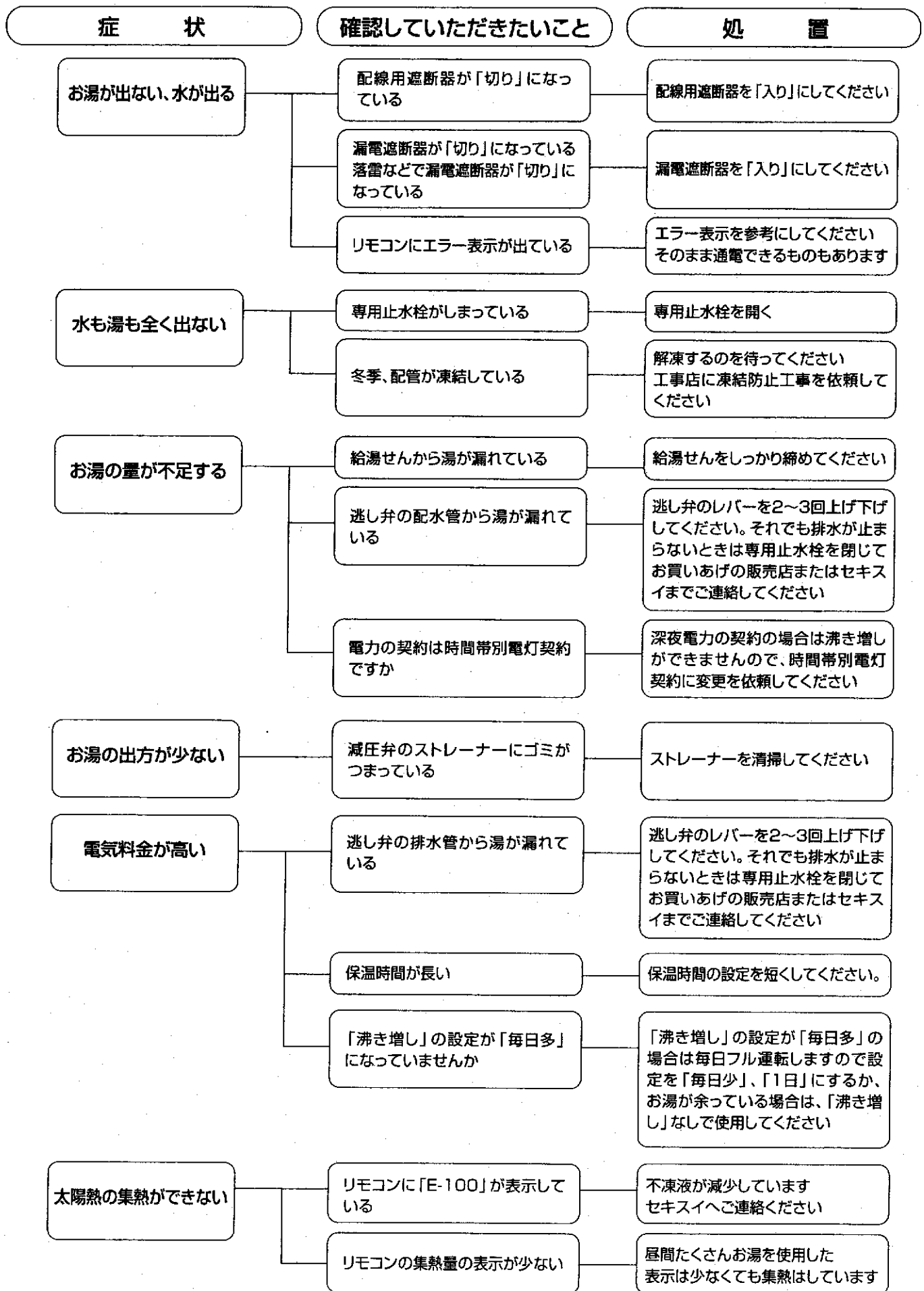
故障診断 調子がおかしいとき(修理を依頼される前に)

次のようなときは温水器の故障ではありませんので調べてみてください。

調べてもなお異常がある場合は、お買いあげの販売店またはセキスイ営業所へご連絡ください。

症 状	確認していただきたいこと	処 置
お湯はりができない	「ふろ自動」を押すとリモコンにH-302が表示する	浴槽に残り湯がある場合は、排水してから再度「ふろ自動」を押してください
	「ふろ自動」を押すとリモコンにH-300が表示する	温水器タンクのお湯切れです「沸き増し」の設定をしてください
	「ふろ自動」を押して湯はり中にリモコンにE-303が表示する	浴槽の排水栓が抜けている場合は、排水栓をしてから再度「ふろ自動」を押してください
浴槽のお湯が少ない	「ふろ自動」の足し湯ができないリモコンにE-304が表示する	浴槽の排水栓が抜けている場合は、排水栓をしてから再度「ふろ自動」を押してください
	リモコンの「湯量設定」が少ない	湯量を多く設定してください 足し湯をしてください
浴槽のお湯がぬるい	リモコンの「湯温設定」が低い	湯温を高く設定してください 高温さし湯をしてください
浴槽のお湯があつい	リモコンの「湯温設定」が高い	湯温を低く設定してください
	高温さし湯中	高温さし湯を中止してください
浴槽のお湯があふれる	リモコンの「湯量設定」が多い	湯量を少なく設定してください 浴槽の残り湯を排水してから湯はりしてください
高温さし湯ができない たし湯、さし水ができない	「湯はり中」	湯はり中は高温さし湯、たし湯、さし水はできません
	「高温さし湯」の場合は、「高温さし湯」ボタンの押しかた	「高温さし湯」ボタンは3秒程度押しつづけてください
	「湯はり完了」していない	「湯はり完了」してから「高温さし湯」「たし湯」「さし水」をしてください
給湯温度が変更できない	リモコンの「優先権」がない	リモコンの優先を得てから給湯温度を変更してください

次のようなときは温水器の故障ではありませんので調べてみてください。
調べてもなお異常がある場合は、お買いあげの販売店またはセキスイ営業所へご連絡ください。



故障診断 こんなときは故障ではありません

次のようなときは温水器の故障ではありませんので調べてみてください。

調べてもなお異常がある場合は、お買いあげの販売店またはセキスイ営業所へご連絡ください。

■お湯が白く濁って見える

これは水中に溶けこんでいた空気が熱せられ、蛇口を開けたとき大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビールの泡と似た現象であり、全く無害なものです。

■ヒーターにすぐ通電されない

マイコンの機能で給水水温によってヒーターの通電時間を変えています。水温が高い場合には、深夜電力が通電になってもすぐには沸き上げせず、ある時間経過してから沸き上げ開始するようになっています。沸き上がりを深夜電力の終了時間にできるだけ合わせた制御をします。

■設定温度まで沸き上がらない

リモコンに「通電中」が表示されているとき、お湯を使用した場合、タンクの残り湯が20L未満で給水水温が10℃以下の場合などには、設定温度まで沸き上がらない場合があります。

■お湯から油が出る

初めてお使いの場合は、配管施工時の油が出る場合がありますがしばらくすると消えます。

■天候が悪く集熱してないのにポンプがまわる

ポンプの故障防止のため、ポンプが一度も運転しないときは、13時に10秒間だけポンプが運転するようにしています。

■時計がずれる

水晶発振器で月差約1分です。現在時刻に合わせてください。

■スイッチを押したときリモコンの表示部がちらつくことがありますがりモコンの故障ではありません。

■ふろ自動をしていないのに時々ポンプが運転する

気温が低いとき、浴槽が空でも循環ポンプが運転することがありますが、浴槽の水の有無の確認のためであり、故障ではありません。また凍結防止運転しているときは、定期的に循環ポンプが運転します。



■沸き増ししても湯量が少ない

沸き増しの設定を「毎日少」から「毎日多」「1日」に変更してみてください。
沸き増しの設定は、早めに行ってください。



■沸き増しの設定ができない

契約電力が「深夜電力」になっている場合は沸き増しできません。

エラー表示と処置

エラー表示の欄の  マーク以外は、サービスマンの点検が必要です。  マークはエラー解除(22ページ)をしてください。最寄りのセキスイ営業所または、お買いあげの販売店までご連絡ください。

エラー表示	エラー内容	処置
E-100	ソーラーサービスタンクの不凍液の減少 サービスタンクのフロートスイッチの故障	不凍液の追加 フロートスイッチの点検、交換
E-101	ソーラー高温センサーの短絡	高温センサーリード線の点検 高温センサーの交換
E-102	ソーラー高温センサーの断線	高温センサーリード線の点検 高温センサーの交換
E-103	ソーラー低温センサーの短絡	低温センサーリード線の点検 低温センサーの交換
E-104	ソーラー低温センサーの断線	低温センサーリード線の点検 低温センサーの交換
E-105	集熱中ソーラー温度上昇せず	ソーラー集熱ポンプの点検
E-200	50L残湯センサーの断線、短絡	残湯センサーリード線の点検 残湯センサーの交換
E-201	100L残湯センサーの断線、短絡	残湯センサーリード線の点検 残湯センサーの交換
E-202	150L残湯センサーの断線、短絡	残湯センサーリード線の点検 残湯センサーの交換
E-203	外気温センサーの断線、短絡	外気温センサーリード線の点検 外気温センサーの交換
E-204	制御センサー下の断線、短絡	制御センサー下リード線の点検 制御センサー下の交換
E-205	92℃以上沸き上げ 50L残湯センサーの短絡	制御センサーリード線の点検 ヒーターリレーの点検 残湯センサーの点検
E-206	24時間以上深夜電力未通電	電力メーターの点検 ブレーカー、内部配線の点検
 E-210	沸き上げ温度が上昇しない	深夜電力通電中にお湯を使用した 本体制御基板の点検
H-211	深夜電力通電中2時間以上停電あり	電力メーターの点検
E-212	水高計の圧力異常	タンク満水の確認 基板のリセット

エラー表示の欄の  マーク以外は、サービスマンの点検が必要です。 マークはエラー解除(22ページ)をしてください。最寄りのセキスイ営業所または、お買いあげの販売店までご連絡ください。

エラー表示	エラー内容	処 置
 H-300	温水器タンクの湯が少ない	沸き増しをする、湯の使いすぎ注意、沸き上げ設定温度を上げる
 H-302	浴槽に残り湯がある	浴槽の湯を排水して再度湯はりする
 E-303	自動湯はり中に水位上昇しない	浴槽の排水栓抜け 水位センサーの故障
 E-304	自動足し湯中に水位上昇しない	浴槽の排水栓抜け 水位センサーの故障
H-305	湯はり終了後、温度誤差が大きい 湯はり中に水または湯を入れたとき	ふろ温度センサーの点検、交換
E-306	二方弁の故障	二方弁の点検、交換
E-307	保温ヒーターの故障 保温運転中に水を入れたとき	保温ヒーターの点検、交換
E-308	ふろ温度センサーの断線、短絡	ふろ温度センサーリード線の点検 ふろ温度センサーの交換
E-310	水位センサーの故障	水位センサーの点検、交換
 E-311	ふろフロースイッチの故障 ふろ自動中に浴槽の排水栓を抜いたとき	ふろフロースイッチの点検、交換
E-312	ふろ給湯フローセンサーの故障	ふろ給湯フローセンサーの点検、交換
E-313	ふろミキシングバルブの故障	ふろミキシングバルブの点検、交換
E-314	一般給湯温度センサー断線、短絡	温度センサーリード線の点検 一般給湯温度センサーの交換
E-315	一般給湯ミキシングバルブの故障	一般給湯ミキシングバルブの点検、交換
E-316	ふろフロースイッチの故障	ふろフロースイッチの点検、交換
E-500	制御基板の誤動作、故障	制御基板のリセット、点検、交換

仕 様

		AUH-58M2K
適用料金制度	時間帯別料金 (通電制御型)	
タンク容量	580L (太陽熱交換用:200L、電温用:380L)	
上ヒーター容量	5.4kW (上ヒーターと下ヒーターは同時には作動しません)	
下ヒーター容量	5.4kW (上ヒーターと下ヒーターは同時には作動しません)	
保温ヒーター容量	1.0kW	
電源定格	AC200V単相 (温水器)、AC200V単相 (制御)	
定格消費電力	5.4kW (電温)、0.3kW (制御)、1.0kW (保温ヒーター)	
質量 (満水時)	約130kg、(満水時:約710kg)	
外形寸法 (mm)	W700、D800、H2200	
最高使用圧力	170kPa、(1.7kgf/cm ²)	
減圧弁設定圧力	150kPa、(1.5kgf/cm ²)	
逃がし弁設定圧力	170kPa、(1.7kgf/cm ²)	
主な機能	設置条件	屋外 (防雨型)
	沸上り温度	最高:約90℃、おまかせ:約70~90℃
	沸増し設定	1日・毎日少・毎日多・無し
	給湯温度設定範囲	35~48℃ (1℃ステップ)、50℃、60℃
	風呂水位設定範囲	4cmステップ8段階
	保温温度	35~48℃ (1℃ステップ)
	湯張り温度	35~48℃ (1℃ステップ)
	高温差し湯	60℃ 2分間 (*80℃も設定可能)
	足し湯	設定温度で2分間
	差し水	水注入 (約1℃低下)
	湯張り予約	あり (入浴時刻設定)
沸上げ停止予約	あり (最大14日)	
型式認可番号	2000年 7月末 取得予定	
日水協・認証登録番号	A-342	

※BL認定取得申請中。住宅金融公庫の割増対象部品として申請予定。

保証とアフターサービス

1 保証について

必ず「販売店(工事店)」「据付日」などをご確認のうえ保証内容をよくお読みいただき大切に保存してください。

2 保証内容について

- 保証期間は据付日から2年間です。
- 正常なご使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の記載事項にもとづき「無償修理」いたします。
- 無償期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

3 点検と修理について

- 少しでもご不審の点がありましたら、販売店または当社指定のサービス店に点検・修理を依頼してください。
- 本品をより長くご使用いただくため、据付後、定期的な点検をご依頼ください。

4 補修用部品の最低保有期間について

- 当社はこの電気温水器の補修用性能部品を製造打切後最低7年間(BL認定品は10年間)保有しています。なお補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 部品交換時期のめやす

- 温水器の部品の寿命は、沸き上がり温度、水質など使用する条件によってかわりますが、一般的な交換時期のめやすを参考にしてください。

部品名	補修期間のめやす	補修方法	補修の必要性
ヒーター	5~8年	交換	通電時間や水質によって性能が低下することがあります。
フランジパッキン	5~8年	交換	長期間使用すると、ゴムの弾性が減少しシール性がなくなったりゆるんだりします。また弁類は水中のスケールによって水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
逃し弁	3~5年	交換	
減圧弁	5~8年	交換	
温度過昇防止器	5~8年	交換	長期間の使用により、金属疲労が生じ接触部が損耗することがあります。
温度調節器	5~8年	交換	
電磁接触器(リレー)	5~8年	交換	
タンクの逃し弁	3~5年	交換	水中のスケールやゴミが付着し水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
自動給湯部品 (循環ポンプ・伝導弁類等)	5~8年	交換	長期間使用すると、水中のスケールによって水漏れしたり動かなくなったりすることがあります。
配管保温材	3~5年	補修	太陽の紫外線によって劣化することがあります。
ソーラ不凍液	3年	交換	長期間使用すると液が劣化します。
ゴム継手、Oリングなど	5~8年	交換	長期間使用するとゴムの弾性が減少し水漏れすることがあります。

事業者様へのご案内

『労働安全衛生法施行令(安衛法)令』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法施行令』(以下安衛法)が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

「安衛法」の規定において、従来の電気温水器は「簡易ボイラー」に区分されますが、高圧力型電気温水器は「小型ボイラー」に区分されます。

簡易ボイラー：「安衛法」適用外、事務所・一般家庭に設置できます。
設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要・定期自主検査の義務もありません。

小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積40kW以下・水頭圧100kPaを超え200kPa以下の給湯器です。「安衛法」が適用になり、一般家庭に設置する場合は、簡易ボイラー同様設置届け・定期自主検査の義務はありません。ただし、事業所に設置する際には、労働基準監督署への設置届けが必要になり、定期自主検査、特別教育、事故報告も必要になります。

・取説記載対象形名：AUH-58M2K

※事業所とは広く家庭用以外の用途で使用される場所を指します。ただし、同居の親族のみが使用する事業所は適用から外れます。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。なお、届出は事業者様が行うことになっています。

●設置報告

事業者様は高圧力型電気温水器を設置するとき、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務づけられています。

●定期自主検査

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のために定期自主検査を実施することが義務づけられています。

●特別教育

事業者様は高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは安全のため特別教育を実施することが義務づけられています。

●事故報告

高圧力型電気温水器の事故等が発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務づけられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかどうかを確認する必要があるため事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図^(※1)及び小型ボイラー明細書^(※1)並びに小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面^(※2)を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業場内で移転した場合には、新たな「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書の提出が必要になります。

※1 同梱されている明細書・構造図を使用して設置届けを行ってください。

※2 事業所内での小型温水ボイラーの設置位置を記載した地図を書いてください。

定期自主検査

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型温水ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本 体	<ul style="list-style-type: none">・ 製品本体からの漏れの有無・ 逃し弁の動作状態および漏れの有無・ 漏電遮断器の動作状況・ タンクの手入れ
配 管	<ul style="list-style-type: none">・ 損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の「日常の点検、お手入れのしかた」を参照してください。

なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育

■適用法令→ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型温水ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の科目

- ① ボイラーの構造に関する知識
- ② ボイラーの付属品に関する知識
- ③ 関係法令
- ④ 小型ボイラーの運転及び保守
- ⑤ 小型ボイラーの点検

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。

なお特別教育の科目の全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。

同梱の取扱説明書を使用して、製品の取扱い説明を行ってください。

事故報告

■適用法令→労働安全衛生規則第96条

事業者様は、小型ボイラーの破裂の事故などが発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

MEMO

4 1/2 10
4 1/2 10

積水化学工業株式会社

住設事業部 大阪市北区西天満2-4-4 〒530-8565

- 仙台住宅資材営業所 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル)
〒980-6060 ☎022(267)3301
- 東京住宅資材営業所 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー)
〒105-8450 ☎03(5521)0653-0654
- 関東営業所 大宮市桜木町1-7-5(ソニックシティビル)
〒331-0852 ☎048(646)0165
- 横浜営業所 横浜市西区北幸1-4-1(天理ビル)
〒220-0004 ☎045(311)6667
- 新潟営業所 新潟市東大通1-2-23(北陸ビル)
〒950-0087 ☎025(244)9261
- 長野営業所 長野市南石堂町1277-2(長栄第二ビル)
〒380-0824 ☎026(226)6510
- 松本営業所 松本市中央1-4-20(日本生命松本駅前ビル)
〒390-0811 ☎0263(33)3931
- 静岡営業所 静岡市南町18-1(サウスポット静岡)
〒422-8067 ☎054(289)6052
- 名古屋住宅資材営業所 名古屋市中村区名駅1-1-4(JRセントラルタワーズ)
〒450-6115 ☎052(583)6115
- 大阪住宅資材営業所 大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル)
〒530-8565 ☎06(6365)4301
- 北陸支店 金沢市本町2-15-1(ポルテ金沢ビル)
〒920-0853 ☎076(231)4461
- 京都営業所 京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地(四条烏丸FTスクエア)
〒600-8008 ☎075(211)8463
- 神戸営業所 神戸市中央区御幸通7-1-15(三宮ビル南館)
〒651-0087 ☎078(251)6639
- 広島住宅資材営業所 広島市中区鉄砲町7-18(東芝フコク生命ビル)
〒730-0017 ☎082(224)6261
- 岡山営業所 岡山市中山下1-8-45(NTTクレド岡山ビル)
〒700-0821 ☎086(222)0651
- 松江営業所 松江市朝日町477-17(明治生命松江駅前ビル)
〒690-0003 ☎0852(26)6800
- 山口営業所 山口県吉敷郡小郡町高砂町2-7(朝日生命小郡ビル)
〒754-0014 ☎083(972)6877
- 高松支店 高松市寿町1-3-2(第一生命ビル)
〒760-0023 ☎087(822)1011
- 松山営業所 松山市千舟町4-5-4(住友生命松山千舟町ビル)
〒790-0011 ☎089(931)3261
- 福岡住宅資材営業所 福岡市中央区天神1-1-1(アクロス福岡)
〒810-0001 ☎092(725)9280
- 大分営業所 大分市都町1-2-19(大分都町第一生命ビル)
〒870-0034 ☎097(536)4131
- 南九州営業所 鹿児島市鴨池新町6-6(鴨池南国ビル)
〒890-0064 ☎099(258)4511